

平成 29 年 9 月 8 日

薬事・食品衛生審議会  
食品衛生分科会長 村田 勝敬 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会長 穂山 浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成 29 年 7 月 10 日付け厚生労働省発生食 0710 第 6 号をもって諮問された、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第 1 項の規定に基づくジノテフランに係る食品中の農薬及び動物用医薬品の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

# ジノテフラン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

## 1. 概要

(1) 品目名：ジノテフラン [ Dinotefuran (ISO) ]

(2) 用途：殺虫剤

ネオニコチノイド系の殺虫剤である。神経のシナプス後膜にあるニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用により、殺虫効果を示すと考えられている。

また、動物用医薬品としても、国内において承認されており、ハエの駆除を目的として畜・鶏舎内の壁等に塗布される。

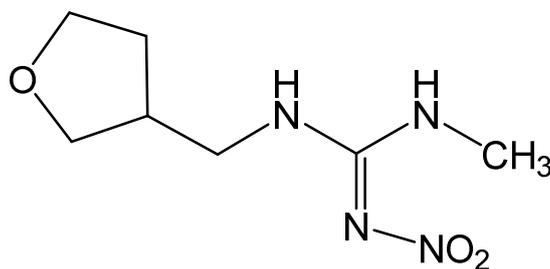
(3) 化学名及びCAS番号

(*RS*)-(*E*)-1-Methyl-2-nitro-3-[(tetrahydrofuran-3-yl)methyl]guanidine  
(IUPAC)

Guanidine, *N*'-methyl-*N*-nitro-*N*'-[(tetrahydro-3-furanyl)methyl]-

(CAS : No. 165252-70-0)

(4) 構造式及び物性



分子式	C <sub>7</sub> H <sub>14</sub> N <sub>4</sub> O <sub>3</sub>
分子量	202.21
水溶解度	40 g/L (20°C)
分配係数	log <sub>10</sub> Pow = -0.549 (25°C)

## 2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用法は以下のとおり。

**作物名**となっているものについては、今回農薬取締法(昭和 23 年法律第 82 号)に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、ブルーベリー、クランベリー等に係る残留基準の設定についてインポートトランス申請がされている。

### (1) 農薬としての使用方法

国内での使用方法

#### ① 0.010%ジノテフラン液剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍率	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
ピーマン なす	コナジラミ類 アザミウマ類 アブラムシ類 カメムシ類	原液	収穫前日 まで	2 回以内	希釈せず そのまま 散布する	3 回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株 元散布は合計 2 回以内)
とうがらし 類	コナジラミ類 アザミウマ類					4 回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)
とうがらし (葉)			収穫 14 日 前まで			3 回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)
トマト ミニトマト	コナジラミ類 アブラムシ類		収穫前日 まで			5 回以内(培土混和及び灌注は 合計 1 回以内、育苗期の株元 散布は 1 回以内、定植時の土 壌混和は 1 回以内、散布及び 定植後の株元散布は合計 2 回 以内)
すいか	アブラムシ類		収穫 7 日 前まで			4 回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)
かぼちゃ			収穫前日 まで			3 回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)
にがうり	コナジラミ類					4 回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)
ズッキーニ	アブラムシ類					3 回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
メロン	コナジラミ類 アザミウマ類		収穫 3 日 前まで			4 回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
きゅうり	コナジラミ類 アブラムシ類 ウリハムシ		収穫前日 まで			4 回以内(育苗期の株元散布及 び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)

① 0.010%ジノテフラン液剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍率	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数	
はくさい	アブラムシ類 キジノミハムシ	原液	収穫3日 前まで	2回以内	希釈せず そのまま 散布する	3回以内(定植時の土壌混和及 び灌注は合計1回以内、散布は 2回以内)	
ブロッコ リー	アブラムシ類					収穫7日 前まで	5回以内(は種時の播溝土壌混 和は1回以内、は種時の全面土 壌混和は1回以内、粒剤の散 布は1回以内、水溶剤及び液 剤の散布は合計2回以内)
キャベツ							
だいこん	アブラムシ類		5回以内(は種時の播溝土壌混 和は1回以内、は種時の全面土 壌混和は1回以内、粒剤の散 布は1回以内、水溶剤及び液 剤の散布は合計2回以内)				
畑わさび			3回以内	3回以内			
非結球あぶ らな科葉菜 類(チンゲンサイ を除く) なばな類 かぶ	キジノミハムシ		収穫3日 前まで	2回以内		3回以内(は種時の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)	
チンゲン サイ						3回以内(は種時及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、散 布は2回以内)	
レタス 非結球 レタス	アブラムシ類					4回以内(は種前の培土混和は 1回以内、育苗期の株元散布、 定植時の土壌混和及び育苗ト レイへの灌注は合計1回以内、散 布は2回以内)	
ねぎ	アザミウマ類					4回以内(は種時の土壌混和、 育苗トレイへの灌注及び定植時 の株元散布は合計1回以内、 生育期の株元灌注は1回以内、 散布及び定植後の株元散布は 合計2回以内)	
らっきょう				3回以内		3回以内	
にら	アブラムシ類 ネギアザミウマ	収穫前日 まで	2回以内	3回以内(生育期の株元灌注は 1回以内、散布は2回以内)			
アスパラ ガス	アザミウマ類 ジュウシホク ビカガハムシ コナジラミ類 カメシ類			3回以内	3回以内		

① 0.010%ジノテフラン液剤 (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍率	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
未成熟とう もろこし	アブラムシ類 カメムシ類	原液	収穫前日 まで	3回以内	希釈 せず その まま 散布 する	3回以内
セルリー	アブラムシ類		収穫14日 前まで	2回以内		3回以内 (定植時の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)
にんじん			収穫7日 前まで			4回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、生育期の株元灌注は 1回以内、散布は2回以内)
だいず	カメムシ類 ダズサヤマハエ		収穫7日 前まで	2回以内		3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)
えだまめ						2回以内
さやえんどう	アブラムシ類 ハモグリバエ類		収穫前日 まで	2回以内		3回以内 (株元散布は1回以内、散布は 2回以内)
さやいんげ ん	アブラムシ類 コジラミ類					
オクラ	アブラムシ類					
しょうが	クロハネキノコハエ 類					
てんさい	アブラムシ類 テンサイモグリハバ エ カメノコハムシ		収穫7日 前まで	1回		3回以内 (灌注は1回以内、散布は2 回以内)
ばれいしょ	ワタアブラムシ		2回以内			
かんしょ	コジラミ類		1回			
すいぜんじ な	アブラムシ類		2回以内			
ふき	コジラミ類		収穫7日 前まで	3回以内		3回以内 (土壌表面散布は1回 以内、散布は2回以内)
りんご	アブラムシ類 キンモンホリガ シクイムシ類 キンモンハモグリガ コナカイガラムシ類 カメムシ類		収穫前日 まで			
もも ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ シクイムシ類 カメムシ類 モモチョッキリゾウムシ					
おうとう	オウトウショウジ ヨウ ハエ カメムシ類	2回以内	2回以内			

① 0.010%ジノテフラン液剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍率	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数		
なし	アブラムシ類 シクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コカイガラムシ類	原液	収穫 前日 まで	3回以内	希釈せず そのまま 散布する	3回以内		
小粒核果類	アブラムシ類 カメムシ類					3回以内（塗布は1回 以内、散布は3回以内）		
かき	カメムシ類 コカイガラムシ類 カキノタムシガ チャノキアザミウマ カキタアザミウマ					3回以内 （塗布は1回以内）		
ぶどう	カメムシ類 ブドウトラカミキリ チャノキアザミウマ コカイガラムシ類					3回以内		
かんきつ	チャノキアザミウマ コカイガラムシ類 アブラムシ類 ミカンハモグリガ カメムシ類 コアオハナムグリ ケキシスイ類 ミカンハエ アカマルカイガラムシ ヤノネカイガラムシ サンホーセカイガラムシ ミカンキジラミ コナジラミ類 チャノミドリヒメコハバイ					3回以内		
びわ	カメムシ類 ヒワキジラミ					2回以内		
あけび （果実）	カメムシ類					収穫14 日前ま で	2回以内	
マンゴー	チャノキアザミウマ					収穫前 日まで	3回以内	3回以内
キウイ フルーツ	カメムシ類							

② 0.35%ジノテフラン粉剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	3 kg/10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側 条施用は合計1回 以内、本田での散布、 空中散布、無人ヘリ散布 は合計3回以内)
	カメシ類	3~4 kg/10 a				

③ 0.50%ジノテフラン粉剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類 イナゴ類 イネトヨイムシ ニカメイチュウ フタホシコガ	3 kg /10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は合計 1回以内、本田での散布、 空中散布、無人ヘリ散布 は合計3回以内)
だいず	カメシ類 フタホシヒメハムシ ダイズサヤマハエ			2回以内		3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、散布は 2回以内)
えだまめ						2回以内

④ 1.0%ジノテフラン粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネトヨイムシ カメシ類	3 kg/10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内(育苗箱への処理 及び側条施用は合計1回 以内、本田での散布、空中 散布、無人ヘリ散布は合計3 回以内)
さとう きび	カンショコバネ ガカメシ	6~9 kg/10 a	生育期 ただし、収穫 45日前まで	2回以内		5回以内 (粒剤は2回以内、液剤 は3回以内)

④ 1.0%ジノテフラン粒剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
きゅうり	ハモク <sup>®</sup> リハ <sup>®</sup> エ類	2 g/株	育苗期	1回	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	コジ <sup>®</sup> ラミ類	1~2 g/株				
	アブラ <sup>®</sup> ムシ類	1 g/株				
	ハモク <sup>®</sup> リハ <sup>®</sup> エ類 アザ <sup>®</sup> ミウマ類	2 g/株	定植時		植穴土壌混和	
	アブラ <sup>®</sup> ムシ類 コジ <sup>®</sup> ラミ類	1~2 g/株 1 g/株	生育期 ただし、収穫開始14日前まで		株元散布	
うり類 (漬物用)	アザ <sup>®</sup> ミウマ類	2 g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	アブラ <sup>®</sup> ムシ類 コジ <sup>®</sup> ラミ類	1~2 g/株				
にがうり	コジ <sup>®</sup> ラミ類	2 g/株	育苗期	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
メロン	ハモク <sup>®</sup> リハ <sup>®</sup> エ類	1~2 g/株				
	コジ <sup>®</sup> ラミ類					
	アブラ <sup>®</sup> ムシ類	1 g/株	定植時	植穴土壌混和		
	ハモク <sup>®</sup> リハ <sup>®</sup> エ類 アザ <sup>®</sup> ミウマ類	2 g/株				
	コジ <sup>®</sup> ラミ類 アブラ <sup>®</sup> ムシ類	1~2 g/株 1 g/株				
すいか	ワタアブラ <sup>®</sup> ムシ	2 g/株	育苗期	1回	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
			定植時		植穴土壌混和	
			生育期 ただし、収穫21日前まで		株元散布	
かぼちゃ	アブラ <sup>®</sup> ムシ類 コジ <sup>®</sup> ラミ類	1 g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
ズッキーニ	アブラ <sup>®</sup> ムシ類		生育期 ただし、収穫開始14日前まで		株元散布	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)

④ 1.0%ジノテフラン粒剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	コジラミ類	培土1L 当たり10g	は種前	1回	培土混和	5回以内 (培土混和及び灌注は合計1回以内、育苗期の株元散布は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	ハモグリバエ類 コジラミ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
	コジラミ類 アブラムシ類		生育期 ただし、収穫 前日まで	2回以内	株元散布	
とうがらし 類	アブラムシ類 コジラミ類	1~2g/株	育苗期	1回	植穴土 壌混和	
	アザミウマ類		定植時			株元散布
	アブラムシ類	1g/株	生育期 ただし、収穫 開始14日前ま で		株元散布	
とうがらし (葉)	アザミウマ類 アブラムシ類		定植時 ただし、収穫 30日前まで	1回	植穴土 壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1 回以内、散布は2回以 内)
なす	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期	2回以内	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び 定植時の土壌混和は合 計1回以内、散布及び定 植後の株元散布は合計 2回以内)
	コジラミ類	1~2g/株				
	アブラムシ類	1g/株				
	ハモグリバエ類 アザミウマ類 コジラミ類	1~2g/株	定植時	植穴土 壌混和		
	アブラムシ類	1g/株	生育期 ただし、収穫 前日まで	2回以内	株元散布	
	コジラミ類		育苗期	1回	植穴土 壌混和	
ピーマン	アブラムシ類 コジラミ類	1~2g/株	定植時			2回以内
	アザミウマ類	1g/株	生育期 ただし、収穫 前日まで	1回	植穴土 壌混和	
キャベツ		2g/株	育苗期	1回	植穴土 壌混和	3回以内 (育苗期の株元散布、定 植時の土壌混和及び灌 注は合計1回以内、散布 は2回以内)
	アオムシ コガ	2~3g/株	定植時			
	アブラムシ類	2g/株				
	ハイダゲラノメイ ガ	3g/株				

④ 1.0%ジノテフラン粒剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数	
はくさい	アオムシ コガ	2～3 g/株	定植時	1回	植穴土壌 混和	3回以内 (定植時の土壌混和 及び灌注は合計1回 以内、散布は2回以 内)	
	アブラムシ類	2 g/株					
	ハイマダラノメカ	3 g/株					
ブロッコ リー	アブラムシ類 コガ	2 g/株	は種時		播溝土壌 混和	5回以内 (は種時の播溝土壌 混和は1回以内、は 種時の全面土壌混和 は1回以内、粒剤の 散布は1回以内、水 溶剤及び液剤の散布 は合計2回以内)	
だいこん	アブラムシ類	6 kg/10 a			4～6 kg /10 a		全面土壌 混和
	キスジノミハシ	6 kg/10 a			9～12 kg /10 a		散布
			タネハエ		生育期 ただし、収 穫30日前 まで		
チンゲン サイ	キスジノミハシ	6 kg/10 a	定植時		土壌混和	3回以内 (は種時及び定植時 の土壌混和は合計1 回以内、散布は2回 以内)	
非結球あぶら な科葉菜類 (チンゲンサイ を除く) かぶ	アブラムシ類 キスジノミハシ		は種時		播溝土壌 混和	3回以内 (は種時の土壌混和 は1回以内、散布は 2回以内)	
	なばな類		アブラムシ類				
レタス 非結球 レタス	ナモグリハエ	培土1 L 当たり 15 g	は種前	培土混和	4回以内 (は種前の培土混和 は1回以内、育苗期 の株元散布、定植時 の土壌混和及び育苗 トレイへの灌注は合計1 回以内、散布は2回 以内)		
		1 g/株	育苗期後半	株元散布			
	アブラムシ類 ナモグリハエ	2 g/株	定植時	植穴土壌 混和			
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリハエ類	6 kg/10 a	は種時	2回以内	播溝土壌 混和	4回以内 (は種時の土壌混和、 育苗トレイへの灌注及 び定植時の株元散布 は合計1回以内、生 育期の株元灌注は1 回以内、散布及び定 植後の株元散布は合 計2回以内)	
	アザミウマ類		定植時		株元散布		
	ハモグリハエ類	6～9 kg /10 a	生育期 ただし、 収穫3日前 まで				

④ 1.0%ジノテフラン粒剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
わけぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6 kg/10 a	生育期 ただし、収穫 21 日前まで	1 回	株元散 布	4 回以内 (定植後の株元散布 は 1 回以内、生育期 の株元灌注は 1 回以 内、散布は 2 回以内)
にんじん	ハモグリバエ類	9 kg/10 a	は種時		播溝土 壤混和	4 回以内 (は種時の土壌混和 は 1 回以内、生育期 の株元灌注は 1 回以 内、散布は 2 回以内)
ほうれんそう	アブラムシ類	6 kg/10 a				3 回以内 (は種時の土壌混和 は 1 回以内、散布は 2 回以内)
セルリー	アブラムシ類	2 g/株	定植時		植穴土 壤混和	3 回以内 (定植時の土壌混和 は 1 回以内、散布は 2 回以内)
いちご	ワタアブラムシ	0.5~1 g /株				1 回
くわい	アブラムシ類	3 kg/10 a	収穫 30 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
オクラ	アブラムシ類	9 kg/10 a	生育期 ただし、収穫 開始 14 日前 まで	1 回	株元散 布	3 回以内 (株元散布は 1 回以 内、散布は 2 回以内)
しょうが	クロハネキノコバエ 類					
実えんどう さやえんどう	ハモグリバエ類					
さやいんげん	アブラムシ類					
だいず	フタスジヒメハムシ	6 kg/10 a	は種時	1 回	播溝土 壤混和	3 回以内 (は種時の土壌混和 は 1 回以内、散布は 2 回以内)
しそ	マテイロコカガ ラムシ	2 g/株 (ただし、10 a 当たり 25 kg まで)	定植時	1 回	植穴土 壤混和	3 回以内 (定植時の土壌混和 は 1 回以内、散布は 2 回以内)
食用ぎく	アブラムシ類	1g/株 (ただし、10 a 当たり 30 kg まで)				
	マメハモグリバエ	2 g/株 (ただし、10 a 当たり 30 kg まで)				

④ 1.0%ジノテフラン粒剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
しゅんぎく	ハモグ <sup>レ</sup> リバ <sup>エ</sup> 類	9 kg/10 a	は種時	1回	播溝土 壤混和	3回以内 (は種時及び定植時 の土壌混和は合計1 回以内、散布は2回 以内)
			定植時		植溝土 壤混和	
ふき	アブラムシ類	20 kg/10 a	定植後～生 育期(草丈20 cm頃まで)た だし、収穫45 日前まで		2回以内	土壌表 面散布
茶	クワシカ <sup>イ</sup> ラムシ	12 kg/10 a	摘採7日前ま で	2回以内	株元土 壤混和	2回以内

⑤ 2.0%ジノテフラン粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	ウカ類 ツマグ <sup>ロ</sup> コバ <sup>イ</sup> イネミス <sup>ヅ</sup> ウムシ イネ <sup>ト</sup> ロイムシ イネ <sup>コ</sup> カムシ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約5L) 1箱当たり50g	は種前	1回	育苗箱 の床土又は 覆土に 均一に 混和する	4回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は 合計1回以内、本 田での散布、空中散 布、無人ヘリ散布は 合計3回以内)
			は種時覆土前 ～移植当日		育苗箱の上 から均一に 散布する	
	移植3日前 ～移植当日					
	コメ <sup>イ</sup> チュウ フタホ <sup>ビ</sup> コヤガ					

⑥ 2.0%ジノテフラン・10.0%プロベナゾール粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネ <sup>ト</sup> ロイムシ コメ <sup>イ</sup> チュウ イネミス <sup>ヅ</sup> ウムシ もみ枯細菌病 白葉枯病	育苗箱 (30×60 ×3 cm、 使用土壌 約5L) 1 箱当たり 50g	移植3日前～ 移植当日	1回	育苗箱の苗 の上から均 一に散布す る	4回以内(育苗箱へ の処理及び側条施用 は合計1回以内、本 田での散布、空中散 布、無人ヘリ散布は 合計3回以内)
	ウカ類 イネ <sup>コ</sup> 類 ツマグ <sup>ロ</sup> コバ <sup>イ</sup> イネ <sup>コ</sup> カムシ いもち病		緑化期～ 移植当日			

⑦ 3.0%ジノテフラン粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
稲	ウカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類	1 kg /10 a	収穫 7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条 施用は合計1回以内、本田 での散布、空中散布、無人へ り散布は合計3回以内)
					無人ヘリコプター による散布	

⑧ 10.0%ジノテフラン液剤

作物名	適用 病害虫名	希釈倍 数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
稲	ツマグロヨコ バイ	16倍	1.6 L/10 a	収穫7日 前まで	3回以内	無人ヘリコプター による散布	4回以内 (育苗箱への処 理及び側条施用 は合計1回以 内、本田での散 布、空中散布、無 人へり散布は合 計3回以内)
		1000倍	60~150 L /10 a			散布	
	カメシ類 ウカ類	300倍	25 L/10 a			無人ヘリコプター による散布	
		カメシ類	8倍				
	ウカ類		16倍			1.6 L /10 a	
		カメシ類 ウカ類	8倍			0.8L/10a	
						30倍	
さとう きび	カンジャコバネ ナガ カメシ タイワツチケ ゴ	1000倍	100~300 L/10 a	収穫45日 前まで	2回以内	散布	5回以内 (粒剤は2回以 内、液剤は3回 以内)
だいで	カメシ類	8倍	0.8 L /10 a	収穫7日 前まで		無人ヘリコプター による散布	3回以内 (は種時の土壌 混和は1回以 内、散布は2回 以内)
					空中散布		
えだまめ	カメシ類 フタスジヒカ ムシ	1000倍	100~300 L/10 a			散布	2回以内

⑨ 12.0%ジノテフラン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	カメムシ類	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当たり 50 g	移植当日	1 回	育苗箱 の上から 均一に 散布する。	4 回以内 (育苗箱への 処理及び 側条施用は 合計 1 回以内、 本田での散布、 空中散布、無人 へり散布は合計 3 回以内)
	ウカ類 イコノ類 イネミスゾウムシ イネトノオムシ イネカバエ		移植 3 日前 ～移植当日			

⑩ 12.0%ジノテフラン剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類	250 g /10 a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用 は合計 1 回以内、本田での散 布、空中散布、無人へり散布は合 計 3 回以内)
	ウカ類 ツマグロヨコバイ	250～500 g /10 a				

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類	2000 倍	60～150 L/10 a	収穫 7 日 前まで	3 回以内	散布	4 回以内(育苗箱 への処理及び側 条施用は合計 1 回以内、本田で の散布、空中散 布、無人へり散 布は合計 3 回 以内)
	ウカ類 ツマグロヨコバイ	3000 倍					
とうもろ こし (子実)	ムギクビレアブラムシ カメムシ類	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
未成熟 とうもろ こし	アブラムシ類 カメムシ類						
もも ネクタリ ン	モモチョッキリゾウムシ アブラムシ類 モモモグリガ シクイムシ類 カメムシ類	2000 倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
おうとう	オウトウショウジョウバエ カメムシ類						

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数	
かき	カメシ類 コカカガラムシ類 カキノハタムシガ チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ	2000 倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内(塗布は1 回以内、散布は3 回以内)	
マンゴー	チャノキイロアザミウマ						3 回以内	
小粒核 果類	アブラムシ類 カメシ類 シクイムシ類						3 回以内 (塗布は1回以内)	
ぶどう	カメシ類 ブドウトラカミキリ	3000 倍		収穫 14 日 前まで	2 回以内		2 回以内	
	フタテンヒメヨコハライ							
	チャノキイロアザミウマ コカカガラムシ類	1000～ 2000 倍						3 回以内 (塗布は1回以内)
あけび (果実)	カメシ類	2000 倍		収穫 14 日 前まで	2 回以内		2 回以内	
キウイ フルーツ		1000～ 2000 倍						3 回以内
びわ	カメシ類 ビワキジラミ	2000 倍		収穫前日 まで	3 回以内		3 回以内	2 回以内
りんご	アブラムシ類 キンモンホカガ シクイムシ類 ギンモンハモグリガ コカカガラムシ類 カメシ類							3 回以内
	なし		アブラムシ類 シクイムシ類 カメシ類 ケムシ類 コカカガラムシ類 チュウゴクナシキジラミ			3 回以内		

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
かんきつ	チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類	1000～ 2000 倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
	ゴマダラカミキリ	1000 倍					
かんきつ	アブラムシ類 ミカンハモグリガ カメムシ類 コアハナムグリ ケシキスイ類 ミカンバエ アカマルカイガラムシ ヤノハカイガラムシ サンホーゼカイガラムシ ミカンキジラミ コナジラミ類 チャノミドリヒメコバエ アオハハゴロモ	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
	ばれいしよ	ワタアブラムシ					
かんしよ			100～300 L/10 a	収穫 3 日 前まで	1 回	散布	1 回
トマト ミニトマト	コナジラミ類	2000～ 3000 倍		収穫前日 まで	2 回 以内		1 回
		100 倍	セル成型育 苗トレイ 1 箱又はペ ーパーポット 1 冊 (30 ×60 cm・使用 土壌約 1.5～4.0 L) 当たり 0.5 L	鉢上時又 は定植時	3 回以内(定植時の 土壌混和及び灌注 は合計 1 回以内、散 布は 2 回以内)		
ブロッコ リー	アブラムシ類 コナガ	100 倍	1.5～4.0 L) 当たり 0.5 L	定植時			

① 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
ブロッコ リー	アブラムシ類	2000～ 3000 倍	100～300 L /10 a	収穫 3 日 前まで	2 回以内	散布	3 回以内(定植時 の土壌混和及び 灌注は合計 1 回以 内、散布は 2 回以 内)
はくさい	キジノミム シ	2000 倍					
ピーマン なす	コジノミ類	2000～ 3000 倍		収穫前日 まで			3 回以内(育苗期 の株元散布及び 定植時の土壌混 和は合計 1 回以 内、散布及び定植 後の株元散布は 合計 2 回以内)
	アブラムシ類	3000 倍					
	アザミヤカ類 カメムシ類	2000 倍					
すいか	アブラムシ類	2000～ 3000 倍		収穫 7 日 前まで			4 回以内(育苗期 の株元散布及び 定植時の土壌混 和は合計 1 回以 内、定植後の株元 散布は 1 回以内、 散布は 2 回以内)
とうがらし 類	コジノミ類	3000 倍		収穫前日 まで			
	アブラムシ類						
	アザミヤカ類						
とうがらし (葉)	コジノミ類	2000～ 3000 倍		収穫 14 日 前まで			3 回以内 (定植時 の土壌混和は 1 回 以内、散布は 2 回 以内)
	アブラムシ類	3000 倍					
	アザミヤカ類	2000 倍					
かぼちゃ	アブラムシ類						
にがうり	コジノミ類						
セルリー	アブラムシ類						
うり類 (漬物用)	コジノミ類		2000～ 3000 倍	収穫 7 日 前まで			
	アザミヤカ類						
	アブラムシ類						

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数		
ズッキー ニ	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L /10 a	収穫前日ま で	2 回 以内	散布	4 回以内（定植時の 土壌混和は 1 回以 内、定植後の株元散 布は 1 回以内、散布 は 2 回以内）		
きゅうり	コジラミ類 アブラムシ類	2000～ 3000 倍					4 回以内（育苗期の株 元散布及び定植時の 土壌混和は合計 1 回 以内、定植後の株元 散布は 1 回以内、散 布は 2 回以内）		
	アザミヤカ類 ウハムシ	2000 倍		2 回以内					
まくわう り	アブラムシ類	3000 倍		収穫 3 日前 まで			3 回以内 （育苗期の株元散布 及び定植時の土壌混 和は合計 1 回以内、 散布は 2 回以内）		
メロン	コジラミ類	2000～ 3000 倍		収穫 3 日前 まで			2 回 以内	散布	5 回以内 （は種時の播溝土壌 混和は 1 回以内、は 種時の全面土壌混和 は 1 回以内、粒剤の 散布は 1 回以内、水 溶剤及び液剤の散布 は合計 2 回以内）
	アザミヤカ類	2000 倍							
	アブラムシ類	3000 倍							
キャベツ	アブラムシ類 コガ アムシ ハイダバラノメイ ガ	50～100 倍	セル成型育苗ト レイ 1 箱又はペ ーパーポット 1 冊 （30×60 cm・使用土壌 約 3 L）当た り 0.5 L	定植前日～ 定植時	1 回	灌注	3 回以内 （育苗期の株元散布、 定植時の土壌混和及 び灌注は合計 1 回以 内、散布は 2 回以内）		
	アブラムシ類	2000～ 3000 倍	100～300 L/10 a	収穫 3 日前 まで	2 回 以内	散布			
だいこん	キジノミハムシ	1000 倍		収穫 7 日前 まで					

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
わさび	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L /10 a	畑育苗期	3 回以内	散布	3 回以内
畑わさび	ナトビハムシ						
クレソン	アブラムシ類	3000 倍		収穫 3 日 前まで	2 回以内		
レタス 非結球 レタス	アブラムシ類	2000～ 3000 倍	セル成型育苗ト レイ 1 箱又は ペーパーポット 1 冊 (30× 60 c m・使用 土壌約 1.5～ 4.0L) 当たり 0.5L	定植前日 ～定植時	1 回	灌注	4 回以内 (は種前の培土混和 は 1 回以内、育苗期 の株元散布、定植時 の土壌混和及び育 苗トレイへの灌注は合 計 1 回以内、散布は 2 回以内)
	ハスモンヨトウ	50 倍					
アブラムシ類 ナメグリハエ	50～100 倍						
ねぎ	アザミウマ類 ハメグリハエ類 シロイモシヨトウ タネハエ ネギコハエ	50 倍	100～300 L /10 a	収穫 3 日 前まで	2 回以内	散布	4 回以内 (は種時の 土壌混和、育苗トレ イへの灌注及び定 植時の株元散布は 合計 1 回以内、生育 期の株元灌注は 1 回以内、散布及び定 植後の株元散布は 合計 2 回以内)
	アザミウマ類	2000 倍					
	ハメグリハエ類 トビイロヒョウタン ゾウムシ	400 倍	0.4 L/m <sup>2</sup>	生育期 ただし、 収穫 14 日 前まで	1 回	株元 灌注	
	クロハネキノコハ エ類	1000 倍	1 L/m <sup>2</sup>				
わけぎ	アザミウマ類	2000 倍	100～300 L /10 a	収穫 3 日 前まで	2 回以内	散布	4 回以内 (定植後の株元散布 は 1 回以内、生育期 の株元灌注は 1 回 以内、散布は 2 回以 内)
	アザミウマ類 ハメグリハエ類	400 倍	0.4 L/m <sup>2</sup>	生育期 ただし、 収穫 14 日 前まで	1 回	株元 灌注	

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数		
にんじん	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	4 回以内（は種 時の土壌混和は 1 回以内、生育 期の株元灌注は 1 回以内、散布 は 2 回以内）		
	トビイロヒヨウタン ゾウムシ	400 倍	0.4 L/m <sup>2</sup>	生育期 ただし、収 穫 21 日前 まで	1 回	株元 灌注			
しゅんぎく	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	3 回以内（は種 時及び定植時の 土壌混和は合計 1 回以内、散布 は 2 回以内）		
チンゲンサイ	キスジノミハムシ	2000 倍		収穫 3 日前 まで					
ほうれんそう									
非結球あぶら な科 葉菜類 （チンゲンサイ を除く） なばな類 かぶ	アブラムシ類	3000 倍		収穫 7 日前 まで			3 回以内	3 回以内（は種 時の土壌混和は 1 回以内、散布 は 2 回以内）	
だいず	カメムシ類 ダイズサヤマ バエ フタスジヒメハムシ	2000 倍							
あずき	アブラムシ類	3000 倍						3 回以内	3 回以内
豆類（未成熟、 ただし、えだま め、さやいんげ ん、さやえんどう、 実えんどう、未成熟さ さげを除く）	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000 倍						2 回以内	2 回以内

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数					
えだまめ	カメシ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ダイズサヤマ バエ	2000 倍	100～300 L /10 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内					
	フタスジヒメハムシ	3000 倍		収穫前日 まで								
未成熟ささげ	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000 倍		収穫前日 まで				2 回以内	散布	3 回以内(株元 散布は 1 回以 内、散布は 2 回 以内)		
実えんどう さやえんどう	アブラムシ類 ハモグリバエ類 ウラナミジミ											
さやいんげん	コナジラミ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類											
モロヘイヤ	アザミウマ類											
オクラ	アブラムシ類											
しょうが	クロハネキノコバ エ類											
らっきょう	アザミウマ類										3 回以内	3 回以内
にら	ネアザミウマ										400 倍	0.4 L/m <sup>2</sup>
	アブラムシ類				100～300 L /10 a		2 回以内					
アスパラガス	アザミウマ類 ジュウホシクビ カハムシ コナジラミ類 カメシ類		2000 倍		100～800 L /10 a	収穫前日 まで	3 回以内				散布	3 回以内

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
てんさい	アブラムシ類 テンサイモグリハナ バエ	2000～ 3000 倍	100～300 L /10 a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	3回以内(灌注 は1回以内、散 布は2回以内)
	カメノコハムシ	1000～ 2000 倍					
	テンサイモグリハナ バエ テンサイトビハムシ	100～ 200 倍	5 L/ペーパ ーポット6冊 (2.5 L/m <sup>2</sup> )	移植前	1回	灌注	
	アブラムシ類 テンサイモグリハナ バエ テンサイトビハムシ	100～ 240 倍	6 L/ペーパ ーポット6冊 (3 L/m <sup>2</sup> )				
きゅうり(葉)	コナジラミ類 アブラムシ類	3000 倍	100～300 L /10 a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2回以内
きゅうり(花)				収穫前日 まで			
バジル							
しそ科葉菜類 (しそ、バジル を除く) しそ(花穂) 食用ほおずき 食用ミニバラ 食用カーネーション 食用金魚草 食用パンジー	アブラムシ類			収穫3日前 まで			
食用トレニア	コナジラミ類						

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用場所	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液 量	使用時 期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ジノテフランを 含む農薬の総 使用回数
しそ	—	アブラムシ類	3000 倍	100～ 300 L/10 a	収穫3日 前まで	2回 以内	散布	3回以内（定植 時の土壌混和 は1回以内、散 布は2回以内）
食用ぎく					収穫7日 前まで			3回以内（定植 時の土壌混和 は1回以内、散 布は2回以内）
なんてん （葉）			2000 倍		2回 以内	2回 以内		2回 以内
すいぜんじ な								
アマランス （茎葉）			3000 倍					
ふき	コジラミ類	2000 倍	収穫7日 前まで	3回 以内	3回以内（土壌 表面散布は1回 以内、散布は2 回以内）			
せり	水田		アブラムシ類		収穫3日 前まで	3回以内		
せり （水耕栽培）	ガラス室等 の施設	アブラムシ類	200～ 700 L/10 a	収穫前 日まで	2回 以内	2回以内		
オリーブ	—	カメシ類	200～ 400 L/10 a	収穫14 日前ま で				
オリーブ （葉）				摘採7日 前まで				
茶	—	チャノホソガ チャノミドリヒメヨ バイ チャノキイロアザミ マ ツマグロアオカスミ メ コミカンアブラムシ	200～ 400 L/10 a	摘採7日 前まで	2回 以内	2回以内		

⑪ 20.0%ジノテフラン顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かき	コカイラムシ類	20～40 g / 樹	発芽前～発芽期	1回	本剤1g当たり水1mLの割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いだ部分に塗布する	4回以内 (塗布は1回以内、 散布は3回以内)
ぶどう			幼果期までただし、 収穫30日前まで			40 g / 樹

⑫ 20.0%ジノテフラン水溶剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
わさび	アブラムシ類	2000倍	100～200 L / 10 a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内

⑬ 40.0%ジノテフラン顆粒水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
りんご	コカイラムシ類	2000倍	200～700 L / 10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内

⑭ 50.0%ジノテフラン水溶剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	散布液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類 ウンカ類	40倍	0.8 L / 10 a	収穫7日前まで	3回以内	無人ヘリコプターによる散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
						空中散布	

⑮ 0.20%ジノテフラン・0.40%エトフェンプロックス粉剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の 総使用回数
稲	ウカ類 カメシ類 ツマグロヨコバイ	3~4 kg /10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内(育苗箱への処理及 び側条施用は合計1回以内、 本田での散布、空中散布、無 人へり散布は合計3回以内)
	ニカメチユウ コブノメカ フタホヒコヤガ	4 kg /10 a				
だいず	カメシ類 フタホヒヒメハムシ	3~4 kg /10 a	収穫14日前 まで	2回以内		3回以内(は種時の土壌混和 は1回以内、散布は2回以 内)

⑯ 0.35%ジノテフラン・1.0%フェノキサニル粉剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類 イナゴ類	3~4 kg /10 a	収穫14 日前まで	3回以内	散布	4回以内(育苗箱への処理及 び側条施用は合計1回以 内、本田での散布、空中散 布、無人へり散布は合計3回 以内)

⑰ 0.35%ジノテフラン・2.0%テブフロキン粉剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類 ニカメチユウ	3~4 kg/10 a	収穫14日 前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側 条施用は合計1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人へり散布は合計3回以 内)
	変色米 (アルタリア菌)	4 kg/10 a				

⑱ 0.35%ジノテフラン・0.11%カスガマイシン・1.5%フサライド粉剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウカ類 カメシ類	3~4 kg/10 a	穂揃期まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側 条施用は合計1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人へり散布は合計3回以 内)
	ニカメチユウ ツマグロヨコバイ イナゴ類	4 kg/10 a				

① 0.35%ジノテフラン・0.50%トリシクラゾール・1.5%ペンシクロン粉剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	3~4 kg /10 a	収穫 21 日 前まで	3 回以内	散布	4 回以内(育苗箱への処理 及び側条施用は合計 1 回 以内、本田での散布、空中 散布、無人ヘリ散布は合計 3 回以内)

② 1.0%ジノテフラン・4.0%ベンフラカルブ粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イトヨトビ イネズミ イネシロウシ	育苗箱 (30×60× 3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当たり 50 g	移植当日	1 回	育苗箱の 上から均 一に散布 する	4 回以内 (育苗箱へ の処理及び側条施用 は合計 1 回以内、本 田での散布、空中散 布、無人ヘリ散布は 合計 3 回以内)

③ 1.67%ジノテフラン・2.2%オリサストロビン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ツマグロヨコバイ ウンカ類 カメムシ類 紋枯病	3 kg/10 a	出穂 5 日前 まで	1 回	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施 用は合計 1 回以内、本田での 散布、空中散布、無人ヘリ散 布は合計 3 回以内)

④ 1.67%ジノテフラン・1.5%フラメトピル粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	3 kg/10 a	収穫 30 日前まで	1 回	散布	4 回以内(育苗箱への処理及び 側条施用は合計 1 回以内、本田 での散布、空中散布、無人ヘリ散 布は合計 3 回以内)

②③ 1.67%ジノテフラン・4.0%メトミノストロビン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 変色米 (アルタリア菌) 変色米 (カーブリア菌) 墨黒穂病 ツマグロヨコバイ ウカ類 カメシ類 フタオビコヤガ	3 kg/10 a	収穫 35 日前 まで	1 回	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計 3 回以内)

②④ 1.67%ジノテフラン・1.5%シメコナゾール・3.0%トルプロカルプ粒剤

作物名	適用病害虫名	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類 いもち病 紋枯病 稲こうじ病 もみ枯細菌病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	3 kg/10 a	出穂 5 日前 ただし、 収穫 45 日前 まで	1 回	湛水散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計 3 回以内)

②⑤ 3.0%ジノテフラン・15.0%メトミノストロビン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) ツマグロヨコバイ ウカ類 ニカメチユウ	1 kg/10a	葉いもち初発 10 日前～10 日 後 (収穫 45 日 前まで)	1 回	散布	4 回以内(育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計 3 回以内)

②⑥ 3.0%ジノテフラン・7.0%エトフェンプロックスフロアブル

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	ウカ類 カメシ類 ツマグロヨコバイ コブノメカ フタヒコヤガ	1000 倍	60～150 L/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内(育苗箱へ の処理及び側条施用 は合計 1 回以内、本 田での散布、空中散 布、無人ヘリ散布は合 計 3 回以内)
	カメシ類	300 倍	25 L/10 a				
	ウカ類 カメシ類 ツマグロヨコバイ コブノメカ	8 倍	0.8 L /10 a			無人 ヘリコプター による 散布	
だいず	カメシ類				2 回以内		3 回以内 (は種時の 土壌混和は 1 回以 内、散布は 2 回以内)

②⑦ 4.0%ジノテフラン・48.0%プロベナゾール顆粒水溶剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネミズウムシ イネトオムシ ウカ類	500 g /10 a	移植時	1 回	ペースト肥料に混合し 側条施肥田植機で 施用する	4 回以内(育苗箱へ の処理及び側条施用は 合計 1 回以内、本 田での散布、空中散布、 無人ヘリ散布は合計 3 回以内)

②⑧ 5.0%ジノテフラン・12.0%フサライドフロアブル

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 カメシ類 ウカ類 ツマグロヨコバイ	500 倍	60～150 L /10 a	収穫 7 日 前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及 び側条施用は合計 1 回以内、本田での 散布、空中散布、無 人ヘリ散布は合計 3 回以内)
	いもち病 カメシ類	150 倍	25 L/10 a				
	いもち病 カメシ類 ウカ類	4 倍	0.8 L/10 a			無人 ヘリコプター による 散布	
		原液	0.2 L/10 a			空中散布	

②⑨ 5.0%ジノテフラン・20.0%チオファネートメチルフロアブル

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 墨黒穂病 稲こうじ病 ウカ類 カメシ類 ツマグロヨコバイ	500 倍	60～200 L /10 a	収穫 14 日 前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及 び側条施用は合計 1 回以内、本田での 散布、空中散布、無 人ヘリ散布は合計 3 回以内)
	いもち病 紋枯病 カメシ類 ウカ類	4 倍	0.8 L /10 a			無人 ヘリコプターに よる散布	
		15 倍	3 L /10 a			空中散布	

③⑩ 5.0%ジノテフラン・15.0%ピロキロン粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウカ類 カメシ類 ツマグロヨコバイ	1 kg/10 a	出穂 5 日前 まで	2 回以内	散布  無人ヘリコプター による散布	4 回以内(育苗箱への処 理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散 布、空中散布、無人ヘリ散 布は合計 3 回以内)

③⑪ 5.0%ジノテフラン・10.0%メトミノストロビン粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) ツマグロヨコバイ ウカ類 カメシ類	1 kg/10 a	収穫 35 日前 まで	1 回	散布  無人ヘリコプター による散布	4 回以内 (育苗箱への処理及 び側条施用は合計 1 回以内、本田での散 布、空中散布、無人ヘ リ散布は合計 3 回以 内)

③② 6.0%ジノテフラン・0.75%クロラントラニリプロール粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウカ類 イネミズゾウムシ イネトモイムシ ニカメイチュウ コブノメイガ	育苗箱 (30 ×60×3 cm、使用土 壌約5 L) 1 箱当たり50 g	は種前	1回	育苗箱の床 土又は覆土 に均一に混 和する。	4回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は合 計1回以内、本田で の散布、空中散布、 無人ヘリ散布は合計 3回以内)
			は種時覆土 前～移植当 日			
	ツマグロヨコバイ イネカメムシ フタホビコヤガ		移植3日前 ～移植当日			

③③ 9.0%ジノテフラン・18.0%ブプロフェジンフロアブル

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	ウカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	1000 倍	60～150 L/10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及 び側条施用は合計1 回以内、本田での散 布、空中散布、無人ヘ リ散布は合計3回以 内)
		8倍	0.8 L /10 a			無人 ヘリコプター による 散布	

③④ 10.0%ジノテフラン・1.37%カスガマイシン・15.0%フサライドフロアブル

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 カメムシ類	300倍	25 L/10 a	穂揃期 まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗箱への 処理及び側 条施用は合 計1回以内、 本田での散 布、空中散 布、無人ヘ リ散布は合 計3回以 内)
	いもち病 カメムシ類 ウカ類 ツマグロヨコバイ	1000倍	60～150 L /10 a				
	いもち病 カメムシ類 ウカ類	8倍	0.8 L/10 a				
		30倍	3 L/10 a				
					空中散布		

③⑤ 15.0%ジノテフラン・4.0%クロラントラニリプロール顆粒水和剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 コナガ アオムシ ヨウムシ ハスモンヨトウ ハマダラメカイ アザミウマ類	100 倍	セル成型育苗 トレイ1箱又は はっぱポット1冊(30 ×60cm・使 用土壌約 1.5~4.0 L) 当たり 0.5 L	定植前日 ~定植時	1 回	灌注	3 回以内 (育苗期の株元散 布、定植時の土壌混 和及び灌注は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
はくさい	アブラムシ類 コナガ アオムシ ヨウムシ ハマダラメカイ						3 回以内 (定植時の土壌混和 及び灌注は合計 1 回以内、散布は 2 回 以内)
ブロッコ リー	アブラムシ類 コナガ アオムシ ハスモンヨトウ						4 回以内 (は種前の培土混和 は 1 回以内、育苗期 の株元散布、定植時 の土壌混和及び育 苗トレイへの灌注は合 計 1 回以内、散布は 2 回以内)
レタス	アブラムシ類 オタハコガ カブラヤガ ナメグリバエ ハスモンヨトウ						4 回以内 (は種時の土壌混 和、育苗トレイへの灌 注及び定植時の株 元散布は合計 1 回 以内、生育期の株元 灌注は 1 回以内、散 布及び定植後の株 元散布は合計 2 回 以内)
非結球 レタス	アブラムシ類 オタハコガ カブラヤガ ナメグリバエ ハスモンヨトウ						4 回以内 (は種時の土壌混 和、育苗トレイへの灌 注及び定植時の株 元散布は合計 1 回 以内、生育期の株元 灌注は 1 回以内、散 布及び定植後の株 元散布は合計 2 回 以内)
ねぎ	ナメグリバエ類 アザミウマ類 シロイモシヨトウ						

③⑥ 10.0%ジノテフラン・8.0%トリシクラゾールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	1000倍	60～150 L/10 a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及 び側条用は合計1回 以内、本田での散布、 空中散布、無人ヘリ 散布は合計3回以 内)
		250～ 300倍	25 L/10 a				
		8倍	0.8 L/10 a			無人ヘリコプター による散布	

海外での使用方法

① ジノテフラン 20%顆粒水溶剤 (米国)

作物名	適用病害虫名	1回当たりの使用量	使用液量	栽培期間中の総使用量	使用時期	使用方法
ベアベリー ビルベリー ブルーベリー クワットベリー クランベリー コケモモ ムントリー ヒメコウジ 栽培種、亜種及び これらの交配種	クロネハイロヒメハマキ※ (Blackheaded fireworm)	0.45-0.90 lb/A (0.090- 0.180 lb ai/A)	5 gals/A	1.8 lb/A (0.360 lb ai/A)	収穫 7日前 まで	空中 散布
	メイガ科の一種※ (Cranberry fruitworm) ゾウムシ科の一種※ (Cranberry weevil) ノミハムシ類 (Flea beetles) ヨコバイ類 (Leafhoppers) シャクトリムシ類※ (Spanworm) ハマキガ科の一種※ (Sparganothis fruitworm) カメムシ類 (Stinkbugs) タマハエ類※ (Tipworm)		30 gals/A			土壌 散布

ai: active ingredient (有効成分)

※: 抑制効果のみ

(2) 動物用医薬品としての使用方法

① 塗布法

食用動物には直接使用しない。畜・鶏舎内及びその周辺のハエの成虫の発生又は棲息する場所に、畜・鶏舎内外の床面積 100 m<sup>2</sup> に対し、ジノテフランとして 2.0 g を 100～400 mL の水に溶かした溶液を壁、柱等に塗布する。またはジノテフランとして 2.0 g を 400 mL の水に溶かした溶液を壁、柱等に噴霧塗布する。なお、塗布量の目安は塗布面 1 m<sup>2</sup> 当たり溶液 100 mL とし、溶液が地面に滴り落ちないようできるだけ均一に塗布又は噴霧塗布を行う。

② 設置法

食用動物には直接使用しない。床面積 100 m<sup>2</sup> 当たり、ジノテフランとして 1.0 g を畜・鶏舎内及びその周辺のハエの成虫が好んで集まり、かつ家畜が経口摂取できな

い場所に適切な容器に入れて設置する。使用量はハエの成虫の発生状況により増減する。

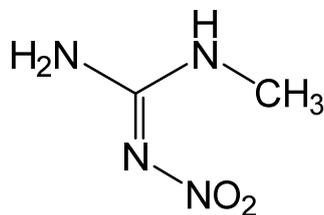
### 3. 作物残留試験

#### (1) 分析の概要

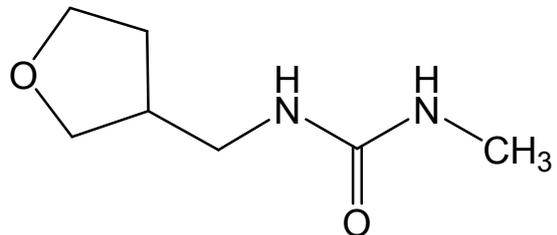
##### 【国内】

##### ① 分析対象の化合物

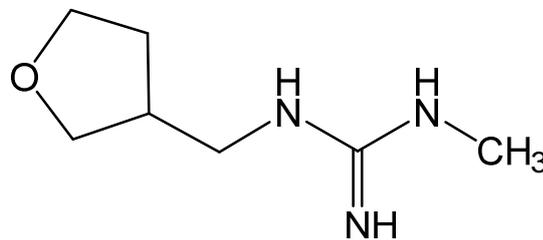
- ・ ジノテフラン
- ・ 1-メチル-2-ニトログアニジン (以下、MNG という)
- ・ 1-メチル-3-(テトラヒドロ-3-フリルメチル) ウレア (以下、UF という)
- ・ 1-メチル-3-(テトラヒドロ-3-フリルメチル) グアニジン (以下、DN という)



MNG



UF



DN

##### ② 分析法の概要

##### i) ジノテフラン

試料からアセトニトリル又は含水メタノールで抽出し、ヘキサンで洗浄後、多孔性ケイソウ土カラム、中性アルミナカラム、グラファイトカーボンカラム、グラファイトカーボン・PSA カラム、グラファイトカーボン・SAX・PSA カラム、SCX カラム、PSA カラム又は SAX カラム等を用いて精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ (HPLC-UV)、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) 又は液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) で定量する。

定量限界 : 0.005~0.4 ppm

## ii) MNG 及び UF

試料から 20%含水アセトニトリル又は含水メタノールで抽出し、ヘキサンで洗淨した後、多孔性ケイソウ土カラム及びグラファイトカーボン/NH<sub>2</sub>積層カラムを用いて精製し、LC-MS で定量する。

定量限界：0.01～0.05 ppm

## iii) DN

試料から 20%含水アセトニトリル又は含水メタノールで抽出し、カルボキシエチルシリル化シリカゲルミニ (CBA) カラムを用いて精製した後、LC-MS で定量する。

定量限界：0.01～0.05 ppm

## 【海外】

### ① 分析対象の化合物

- ・ ジノテフラン
- ・ UF
- ・ DN

### ② 分析法の概要

試料から塩酸酸性下アセトニトリル・水 (4 : 1) 混液で抽出し、ヘキサンで洗淨した後、緩衝液を加えて pH8.0±0.2 に調整する。ジノテフラン及び UF は塩化ナトリウムを加えて塩析し、多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製した後、DN は CBA カラムを用いて精製した後、LC-MS/MS 又は LC-MS で定量する。

定量限界 ジノテフラン：0.0049 ppm

UF：0.0040 ppm

DN：0.0036 ppm

## (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2 を参照。

## 4. 畜産物への推定残留濃度

### (1) 飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令 (昭和 51 年農林省令第 35 号) に定める飼料一般の成分規格等と飼料の最大給与割合等から、飼料の摂取によって家畜が

暴露されうる飼料中の残留農薬濃度を算出した。

成分規格等で定められている基準値上限まで飼料中にジノテフランが残留している場合を仮定し、これに飼料の最大給与割合等を掛け合わせるにより飼料中の最大理論的飼料由来負荷 (MTDB)<sup>注)</sup> を算出したところ、乳牛において 7.9 mg/kg、肉牛において 7.8 mg/kg、豚において 2.2 mg/kg、採卵鶏において 3.2 mg/kg、肉用鶏において 1.9 mg/kg と推定された。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden : MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量のこと。飼料中残留濃度として表示される。

## (2) 分析の概要

### ① 分析対象の化合物

- ・ ジノテフラン
- ・ UF
- ・ DN

### ② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水 (4 : 1) 混液で抽出し、C<sub>18</sub> カラムを用いて精製した後、LC-MS/MS で定量する。

または、試料からアセトニトリル又はアセトン・*n*-ヘキサン (1 : 2) 混液で抽出し、GPC で精製した後、LC-MS/MS で定量する。

定量限界 : 0.005~0.01 ppm

## (3) 家畜残留試験 (動物飼養試験)

### ① 乳牛における残留試験

乳牛に対して、ジノテフラン、UF 及び DN が 3 : 1 : 1 の割合で 5、15 及び 50 mg/kg 含有する飼料を 29~30 日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるジノテフラン、UF 及び DN 濃度を測定した。また、乳については、投与開始後 1、2、4、7、10、12、14、18、21、23、25、28 日及びと殺直前に搾乳したものを測定した。結果については表 1 を参照。

表 1. 乳牛の組織中の残留濃度 (ppm)

組織		5 mg/kg 投与群	15 mg/kg 投与群	50 mg/kg 投与群
筋肉	ジノテフラン	ND	ND	ND
	UF	0.013 (0.012)	0.040 (0.037)	0.192 (0.127)
	DN	ND	<0.01 (<0.01)	0.023 (0.023)
	合計	0.017 (0.016)	0.052 (0.047)	0.216 (0.152)
皮下脂肪	ジノテフラン	ND	ND	ND
	UF	<0.01 (<0.01)	0.042 (0.027)	0.131 (0.070)
	DN	<0.01	<0.01	<0.01
	合計	<0.01 (<0.01)	0.046 (0.029)	0.143 (0.079)
腹腔内脂肪	ジノテフラン	ND	ND	ND
	UF	ND	<0.01 (<0.01)	0.052 (0.030)
	DN	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
	合計	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.064 (0.035)
肝臓	ジノテフラン	ND	ND	ND
	UF	0.016 (0.012)	0.043 (0.039)	0.187 (0.124)
	DN	ND	<0.01 (<0.01)	0.023 (0.019)
	合計	0.020 (0.013)	0.047 (0.046)	0.205 (0.145)
腎臓	ジノテフラン	ND	ND	ND
	UF	0.012 (0.011)	0.051 (0.047)	0.290 (0.178)
	DN	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.039 (0.017)
	合計	0.016 (0.014)	0.063 (0.054)	0.331 (0.197)
乳	ジノテフラン	<0.01	0.011	0.032
	UF	0.019	0.065	0.244
	DN	0.013	<0.01	0.011
	合計	0.029	0.076	0.264

ND: 検出限界未満、乳は平均的な残留濃度

上段: 最大残留濃度 下段: 平均的な残留濃度

② 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対して、ジノテフランが 1、3 及び 20 mg/kg 含有する飼料を 28 日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び卵に含まれるジノテフラン濃度を測定

した。結果については表 2 を参照。

表 2. 産卵鶏の組織中の最大残留濃度 (ppm)

	1 mg/kg 投与群	3 mg/kg 投与群	20 mg/kg 投与群
筋肉	<0.005 (<0.005)	<0.005 (<0.005)	<0.005 (<0.005)
脂肪	<0.005 (<0.005)	<0.005 (<0.005)	<0.005 (<0.005)
肝臓	<0.005 (<0.005)	<0.005 (<0.005)	<0.005 (<0.005)
腎臓	<0.005 (<0.005)	<0.005 (<0.005)	<0.005 (<0.005)
卵	<0.005 (<0.005)	<0.005 (<0.005)	0.025 (0.0155)

上段：最大残留濃度 下段：平均的な残留濃度

#### (4) 推定残留濃度

乳牛及び産卵鶏について、MTDB と各試験における投与量から、ジノテフラン及びUFの畜産物中の推定残留濃度（最大値）を算出した。結果についてはジノテフラン及びUF（親換算値）の合計値で表した。結果については表 3-1、表 3-2 及び表 3-3 を参照。

表 3-1 牛の組織中の推定残留濃度 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.0214	0.0409	0.0591	0.0683	0.0843

表 3-2 豚の組織中の推定残留濃度 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓
豚	0.0142	0.0213	0.0281	0.0314

表 3-3 鶏の組織中の推定残留濃度 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵(卵白)	卵(卵黄)
産卵鶏	0.0101	0.0020	0.0084	0.0156	0.0097

#### 5. 動物用医薬品の対象動物における残留試験

動物用医薬品の用途においては、食用動物には直接適用しないため残留試験は実施されていない。

#### 6. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたジノテフランに係る食品健康影響評価において、以下のと

おり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：22 mg/kg 体重/day  
(動物種) 雄イヌ  
(投与方法) 混餌  
(試験の種類) 慢性毒性試験  
(期間) 1年間

安全係数：100

ADI：0.22 mg/kg 体重/day

(2) ARfD

無毒性量：125 mg/kg 体重/day  
(動物種) ウサギ  
(投与方法) 強制経口  
(試験の種類) 発生毒性試験

安全係数：100

ARfD：1.2 mg/kg 体重

また、動物用医薬品としては上記の評価に加え以下のとおり評価されている。

本剤は水に溶かした溶液を畜・鶏舎内及びその周辺の壁、柱等に塗布又は噴霧塗布して使用され、動物体に直接適用されない。また、ジノテフランは蒸気圧が $<1.7 \times 10^{-6}$  Pa (25°C) と極めて低く、常温、常圧下ではほとんど揮発しないと考えられることから、これを動物が吸入し暴露することも考えにくい。動物体への暴露が想定される最悪のケースは、空間に噴霧された薬剤が動物体に暴露するものであるが、臨床用量の5倍量を鶏、牛に直接噴霧した場合にも、血液、鶏卵、乳のいずれからもジノテフランは検出されないことが確認されている(定量限界0.01 ppm)。このことから、本製剤については適切に使用される限りにおいて、製剤に含有される成分が食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できるものと考えられる。

7. 諸外国における状況

JMPR が毒性評価を行い、2012年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は米、たまねぎ等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてばれいしょ、ぶどう等に、EUにおいてもも、クランベリー等に、豪州において綿実に残留基準値が設定されている。

## 8. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

農産物にあつてはジノテフラン、畜産物にあつてはジノテフラン及びUFとする。

農産物においては、一部の作物残留試験でMNG、UF及びDNの分析が行われているが、これらの代謝物の残留濃度はジノテフランに比べて低いことから規制対象に含めないこととする。

畜産物においては、家畜残留試験においてUFが比較的多く検出されていることから、規制対象をジノテフラン及びUFとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においては、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質としてジノテフラン（親化合物のみ）を設定している。

### (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

### (3) 暴露評価

#### ① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
一般（1歳以上）	21.8
幼小児（1～6歳）	39.1
妊婦	19.6
高齢者（65歳以上）	25.0

注) 各食品の平均摂取量は、平成17年～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI 試算：基準値案×各食品の平均摂取量

#### ② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、一般（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない<sup>注)</sup>。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案又は作物残留試験における中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 注1) 【ジノテフラン/MNG/UF/DN】	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
水稲 (玄米)	2	2.0%粒剤 +0.50%粉剤	育苗箱 50 g/箱 散布 3 kg/10 a	1+3	7, 14, 21	圃場A:0.124/<0.01/*0.02/0.01(*4回, 14日) 圃場B:0.131/<0.01/*0.03/0.01(*4回, 14日)
	2	2.0%粒剤 +1.0%粒剤 +0.50%粉剤	育苗箱 50 g/箱 散布 4 kg/10 a 散布 3 kg/10 a	1+1+2	7, 14, 21	圃場A:*0.127/*<0.01/*0.03/*0.01(*4回, 7日, **4回, 21日) (#)注2) 圃場B:*0.063/*<0.01/*0.01/*0.01(*4回, 7日, **4回, 21日) (#)
	2	2.0%粒剤 +1.0%粒剤	育苗箱 50 g/箱 散布 4 kg/10 a	1+3	7, 14, 21	圃場A:*0.04/*<0.02/*<0.02/*<0.02(*4回, 14日, **4回, 7日) (#) 圃場B:0.01/<0.02/<0.02/<0.02(4回, 7日) (#)
	2	2.0%粒剤 +20.0%水溶剤	育苗箱 50 g/箱 2000倍散布 150 L/10 a	1+3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.44/-/-/(4回, 21日) 圃場B:0.50/-/-/(4回, 14日)
	2	2.0%粒剤 +10.0%液剤	育苗箱 50 g/箱 1000倍茎葉散布 150 L/10 a	1+3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.29/-/-/(4回, 21日) 圃場B:0.38/-/-/(4回, 19日)
	2	2.0%粒剤 +10.0%液剤	育苗箱 50 g/箱 8倍無人へ散布 0.8 L/10 a	1+3	7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.39/-/-/(4回, 14日) 圃場B:0.40/-/-/(4回, 21日)
	2	12.0%粒剤 +40.0%水和剤 +10.0%ゾル剤	育苗箱 50g/箱 100倍灌注 500mL/箱 1000倍 散布150 L/10 a	1+1+3	7, 21, 28	圃場A:0.74/-/-/(5回, 21日) (#) 圃場B:0.54/-/-/(5回, 21日) (#)
	2	12.0%粒剤 +40.0%水和剤 +10.0%ゾル剤	育苗箱 50 g/箱 100倍灌注 500 mL/箱 原液無人へ散布200 mL/10 a	1+1+3	7, 21, 28	圃場A:0.40/-/-/(5回, 7日) (#) 圃場B:0.94/-/-/(5回, 7日) (#)
	2	12.0%粒剤 +40.0%水和剤 +10.0%液剤	育苗箱 50 g/箱 100倍灌注 500 mL/箱 250倍散布25 L/10 a	1+1+3	7, 21, 28	圃場A:0.24/-/-/(5回, 7日) (#) 圃場B:0.58/-/-/(5回, 21日) (#)
	2	12.0%粒剤 +40.0%水和剤 +10.0%ゾル剤	育苗箱 50 g/箱 100倍灌注 500 mL/箱 250倍 散布25 L/10 a	1+1+3	7, 21, 28	圃場A:0.16/-/-/(5回, 7日) (#) 圃場B:0.24/-/-/(5回, 7日) (#)
	2	12.0%粒剤 +40.0%水和剤 +3.0%粒剤	育苗箱 50 g/箱 100倍灌注 500 mL/箱 散布 3 kg/10 a	1+1+3	7, 21, 28, 35	圃場A:0.08/-/-/(5回, 7日) (#) 圃場B:0.04/-/-/(5回, 21日) (#)
	2	12.0%粒剤 +10.0%液剤	育苗箱 50 g/箱 1000倍散布 150 L/10 a	1+3	7, 14, 28	圃場A:0.36/-/-/(4回, 14日) 圃場B:1.00/-/-/
	2	12.0%粒剤 +10.0%液剤	育苗箱 50 g/箱 8倍無人へ散布 0.8 L/10 a	1+3	7, 14, 21	圃場A:0.27/-/-/(4回, 14日) 圃場B:0.36/-/-/
	3	10.0%液剤	300倍散布 25 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.21/-/-/(3回, 21日) 圃場B:0.16/-/-/(3回, 14日) 圃場C:0.18/-/-/(3回, 21日)
	未成熟 とうもろこし (種子)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14
とうもろこし (乾燥子実)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200 L/10a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.01/-/-/ 圃場B:0.02/-/-/
だいず (乾燥子実)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	播種時播溝土壌混和 6 kg/10 a 2000倍散布 250, 300 L/10 a	1+2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.006/-/-/(3回, 14日) 圃場B:0.014/-/-/(3回, 14日)
	2	1.0%粒剤 +10.0%液剤	播種時播溝土壌混和 6 kg/10 a 8倍無人へ散布 0.8 L/10 a	1+2	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.02/-/-/ 圃場B:<0.02/-/-/
	2	1.0%粒剤 +0.50%粉剤	播種時播溝土壌混和 6 kg/10 a 散布 4 kg/10 a	1+2	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.02/-/-/(3回, 7日) (#) 圃場B:<0.02/-/-/(3回, 7日) (#)
	2	1.0%粒剤 +3.0%フロアブル	播種時播溝土壌混和 6 kg/10 a 8倍無人へ散布 0.8 L/10 a	1+2	7, 13, 20 7, 14, 21	圃場A:<0.01/-/-/(3回, 13日) 圃場B:<0.01/-/-/
あずき (乾燥子実)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 200, 173 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.09/-/-/ 圃場B:0.05/-/-/
ばれいしょ (塊茎)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	植付時植溝土壌混和 6 kg/10 a 1000倍散布 150, 200 L/10 a	1+2	7, 13, 28, 42 7, 14, 28, 42	圃場A:0.03/-/-/(3回, 7日) (#) 圃場B:0.02/-/-/(3回, 7日) (#)
かんしょ (塊根)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 300, 200 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A:<0.02/-/-/ 圃場B:<0.02/-/-/
てんさい (根部)	2	20.0%水溶剤	100倍定植時苗灌注 1 L/冊 1000倍散布 300, 150 L/10 a	1+2	7, 14, 22 6, 13, 21	圃場A:0.04/-/-/ 圃場B:<0.01/-/-/(3回, 6日)
さとうきび (茎)	3	1.0%粒剤 +10.0%液剤	散布 9 kg/10 a 1000倍散布 278, 200, 174 L/10 a	2+3	45, 60, 75	圃場A:<0.01/-/-/ 圃場B:0.01/-/-/(5回, 60日) 圃場C:0.07/-/-/
だいこん (根部)	2	1.0%粒剤	播種時播溝土壌混和 6 kg/10 a	1	50, 57, 64 56, 63, 70	圃場A:*0.026/*0.02/*<0.01/*<0.01(*1回, 57日, **1回, 50日) 圃場B:0.010/0.02/<0.01/<0.01(1回, 56日)
	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	播種時播溝土壌混和 6 kg/10 a 生育期株元散布 6 kg/10 a 1000倍散布 200 L/10 a	1+1+2	7, 14, 21	圃場A:0.08/-/-/ 圃場B:0.12/-/-/
	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	播種前全面土壌混和12 kg/10 a 播種時播溝土壌混和6 kg/10 a 生育期葉面散布6 kg/10 a 1000倍散布 200, 150 L/10 a	1+1+1+ 2	7, 14, 21	圃場A:0.12/-/-/ 圃場B:0.08/-/-/

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) <sup>注1)</sup> 【ジノテフラン/MNG/UF/DN】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
だいこん (葉部)	2	1.0%粒剤	播種時播溝土壌混和 6 kg/10 a	1	50, 57, 64	圃場A: *0.064/**0.02/*0.01/*0.03 (*1回, 50日, **1回, 57日)
						圃場B: *0.038/**0.04/**0.01/**0.02 (*1回, 63日, **1回, 56日, ***1回, 70日)
	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	播種時播溝土壌混和 6 kg/10 a 生育期株元散布 6 kg/10 a 1000倍散布 200 L/10 a	1+1+2	7, 14, 21	圃場A: 1.50/-/-/ 圃場B: 1.34/-/-/
かぶ (根部)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	播種時土壌混和 9 kg/10 a 2000倍葉面散布150, 150~200 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: 0.10/-/-/-(3回, 3日) (#)
						圃場B: 0.15/-/-/-(3回, 3日) (#)
かぶ (葉部)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	播種時土壌混和 9 kg/10 a 2000倍葉面散布150, 150~200 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: 2.08/-/-/-(3回, 3日) (#) 圃場B: 2.82/-/-/-(3回, 3日) (#)
クレソン (茎葉)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 150 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 0.9/-/-/ 圃場B: 1.1/-/-/
はくさい (茎葉)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 3 g/株 2000倍散布 200, 200~300 L/10 a	1+2	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.320/-/-/-
						圃場B: 0.426/-/-/-
キャベツ (葉球)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 3 g/株 2000倍散布 200 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: 0.820/0.02/0.08/*0.12 (*3回, 14日)
						圃場B: *0.913/0.01/**0.06/**0.10 (*3回, 7日, **3回, 14日)
こまつな (茎葉)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	定植時播溝土壌混和 6 kg/10 a 2000倍散布150~200, 200 L/10 a	1+2	3, 7, 14 3, 7, 15	圃場A: 3.86/-/-/-(3回, 7日) (#)
						圃場B: 1.36/-/-/-(3回, 3日) (#)
みずな (茎葉)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	定植時播溝土壌混和 6 kg/10 a 2000倍散布200, 50~100 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: 3.32/-/-/-(3回, 3日) (#) 圃場B: 4.06/-/-/-(3回, 3日) (#)
チンゲンサイ (茎葉)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	定植時播溝土壌混和 6 kg/10 a 2000倍散布150~300, 200 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A: 3.92/-/-/- 圃場B: 2.02/-/-/-
ブロッコリー (花蕾)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 200 L/10 a	1+2	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.64/-/-/-
						圃場B: 0.14/-/-/-
オータムボエム (茎葉)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	定植時播溝土壌混和6 kg/10 a 2000倍散布 200, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 4.24/-/-/-(3回, 3日) (#)
						圃場B: 2.90/-/-/-(3回, 3日) (#)
なばな (茎葉)	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	定植時播溝土壌混和6 kg/10 a 2000倍散布 250, 150 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 1.48/-/-/-(3回, 3日) (#) 圃場B: 3.18/-/-/-(3回, 3日) (#)
わさび (根茎)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A: 0.4/-/-/-(3回, 14日) 圃場B: <0.1/-/-/-(3回, 14日)
わさび (花及び花茎)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A: 2.04/-/-/-(3回, 14日) 圃場B: 0.89/-/-/-(3回, 14日)
わさび (葉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A: 2.01/-/-/-(3回, 14日) 圃場B: 0.26/-/-/-(3回, 14日)
畑わさび (根茎)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 486~1025, 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 0.70/-/-/-(3回, 3日) (#) 圃場B: 1.54/-/-/-(3回, 3日) (#)
畑わさび (花茎)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 215~262, 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 18.9/-/-/- 圃場B: 3.90/-/-/-
畑わさび (茎葉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 486~1025, 300L/10a	3	3, 7, 14	圃場A: 4.78/-/-/-(3回, 3日) (#) 圃場B: 3.87/-/-/-(3回, 3日) (#)
しゅんぎく (茎葉)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	2000倍葉散布100, 500 mL/箱 50倍灌注 500 mL/箱 定植時播溝土壌混和 20 kg/10 a 2000倍葉面散布 200 L/10 a	1+1+1+ 2	1, 3, 7, 13 1, 3, 7, 14	圃場A: 7.5/-/-/-(5回, 1日) (#)
						圃場B: 12.7/-/-/-(5回, 1日) (#)
レタス (茎葉)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 200, 300 L/10 a	1+2	3, 7, 14, 21	圃場A: 1.00/-/-/-
						圃場B: 0.635/-/-/-
	2	1.0%粒剤 +20.0%水溶剤	50倍灌注 500 mL/箱 定植時植穴土壌混和 3 g/株 2000倍散布 200, 202 L/10 a	1+1+2	3, 7, 14	圃場A: 1.67/-/-/-(4回, 3日) (#)
						圃場B: 2.58/-/-/-(4回, 3日) (#)
2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	播種時培土混和 30 g/培土L 2000倍散布 500 mL/トレイ 50倍灌注 500mL/トレイ 2000倍散布 200 L/10 a	1+1+1+ 2	3, 7, 14	圃場A: 3.16/-/-/-(5回, 3日) (#)	
					圃場B: 2.04/-/-/-(5回, 3日) (#)	
2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	播種前培土混和 30 g/培土L 2000倍散布 500 mL/トレイ 定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 200 L/10 a	1+1+1+ 2	3, 7, 14	圃場A: 3.11/-/-/-(5回, 3日) (#) 圃場B: 1.53/-/-/-(5回, 3日) (#)	

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【ジノテフラン/MNG/UF/DN】
レタス (莖葉)	2	1.0%粒剤＋ 15.0%水和剤＋ 20.0%水溶剤	播種前培土混和 15 g/培土L 100倍灌注 500 mL/トレイ 2000倍散布 200 L/10 a	1+1+2	3, 7, 14	圃場A:3.19/-/-/ 圃場B:2.12/-/-/
リーフレタス (莖葉)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	播種前培土混和 30 g/培土L 2000倍散布 500 mL/トレイ 50倍灌注 500 mL/トレイ 2000倍散布 200 L/10 a	1+1+1+ 2	3, 7, 14	圃場A:4.97/-/-/-(5回, 3日) (#) 圃場B:2.61/-/-/-(5回, 3日) (#)
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	播種前培土混和 30 g/培土L 2000倍散布 500 mL/トレイ 定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 300, 200 L/10 a	1+1+1+ 2	3, 7, 14	圃場A:14.6/-/-/-(5回, 3日) (#) 圃場B:11.8/-/-/-(5回, 3日) (#)
サラダ菜 (莖葉)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	播種前培土混和 30 g/培土L 2000倍散布 500 mL/トレイ 50倍灌注 500 mL/トレイ 2000倍散布 300, 200 L/10 a	1+1+1+ 2	3, 7, 14	圃場A:11.4/-/-/-(5回, 3日) (#) 圃場B:14.6/-/-/-(5回, 7日) (#)
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	播種前培土混和 30 g/培土L 2000倍散布 500 mL/トレイ 定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 300, 200 L/10 a	1+1+1+ 2	3, 7, 14	圃場A:16.0/-/-/-(5回, 3日) (#) 圃場B:5.21/-/-/-(5回, 3日) (#)
食用ぎく (花部)	1	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 3000倍散布 150 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:2.0/-/-/
	1	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 200 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:1.3/-/-/-(3回, 7日) (#)
すいぜんじな (莖葉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:2.9/-/-/
ふき (葉柄)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.52/-/-/
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	散布20 g/10 a 2000倍散布 300 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:0.42/-/-/
根深ねぎ (莖葉)	1	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植溝土壌混和 6 kg/10 a 生育期株元散布 6 kg/10 a 1000倍散布 200 L/10 a	1+1+2	3, 7, 14, 21	圃場A:0.70/-/-/-(4回, 3日) (#)
	1	1.0%粒剤 ＋20.0%水溶剤	50倍灌注 500 mL/トレイ 定植時植溝土壌混和 9 kg/10 a 100倍生育期株元散布 100 L/10 a 2000倍散布 200 L/10 a 1000倍散布 100 L/10 a	1+1+1+ 2	3, 7, 14, 21	圃場A:1.03/-/-/-(5回, 3日) (#)
	1	20.0%水溶剤 ＋1.0%粒剤	50倍定植時灌注 500 mL/トレイ 100倍生育期株元灌注 100L/10a 生育期株元散布 9 kg/10 a	1+1+2	3, 7, 14, 21	圃場A:8.04/-/-/-(4回, 7日) (#)
	1	1.0%粒剤 ＋20.0%水溶剤	定植時植溝土壌混和 6 kg/10 a 100倍生育期株元灌注 100 L/10 a 生育期株元散布 9 kg/10 a	1+1+2	3, 7, 14, 21	圃場A:7.78/-/-/-(4回, 7日) (#)
葉ねぎ (莖葉)	1	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植溝土壌混和 6 kg/10 a 生育期株元散布 6 kg/10 a 1000倍散布 200 L/10 a	1+1+2	3, 7, 14, 21	圃場A:1.00/-/-/-(4回, 14日) (#)
	1	1.0%粒剤 ＋20.0%水溶剤	50倍灌注 500 mL/トレイ 定植時植溝土壌混和 9 kg/10 a 100倍生育期株元散布 100 L/10 a 2000倍散布 120～150 L/10 a	1+1+1+ 2	3, 7, 14, 21	圃場A:1.82/-/-/-(5回, 3日) (#)
	1	20.0%水溶剤 ＋1.0%粒剤	50倍定植時灌注 500 mL/トレイ 100倍生育期株元灌注 100 L/10 a 生育期株元散布 9 kg/10 a	1+1+2	3, 7, 14, 21	圃場A:1.97/-/-/-(4回, 7日) (#)
	1	1.0%粒剤 ＋20.0%水溶剤	定植時植溝土壌混和 6 kg/10 a 100倍生育期株元灌注 100 L/10 a 生育期株元散布 9 kg/10 a	1+1+2	3, 7, 14, 21	圃場A:1.24/-/-/-(4回, 14日) (#)
にら (莖葉)	2	20.0%水溶剤	400倍生育期株元灌注 400 L/10 a 2000倍散布 200, 150 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:5.20/-/-/-(3回, 3日) 圃場B:2.44/-/-/
アスパラガス (莖葉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 800 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:0.08/-/-/
わけぎ (莖葉)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	生育期株元散布 6 kg/10 a 400倍生育期株元灌注 0.4 L/m <sup>2</sup> 2000倍散布 181, 158 L/10 a	1+1+2	3, 7, 14, 21	圃場A:2.82/-/-/
						圃場B:3.04/-/-/
らっきょう (鱗茎)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 200, 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.18/-/-/-(3回, 1日) (#) 圃場B:0.26/-/-/-(3回, 1日) (#)
にんじん (根部)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	播種時播溝土壌混和 9 kg/10 a 1,000倍散布 170, 541.7～597.2 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:0.13/-/-/-(3回, 14日) (#) 圃場B:0.34/-/-/-(3回, 14日) (#)
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	播種時播溝土壌混和 9 kg/10 a 400倍生育期株元灌注 400 L/10 a 2000倍散布 200 L/10 a	1+1+2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.38/-/-/
セルリー (莖葉)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 1000倍散布 150, 200 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:0.98/-/-/-(3回, 14日) (#)
						圃場B:1.82/-/-/-(3回, 14日) (#)
せり (莖葉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 150, 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.04/-/-/
						圃場B:1.7/-/-/

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 注1) 【ジノテフラン/MNG/UF/DN】	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
せり (水耕栽培) (茎葉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 150 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:0.6/-/-/ 圃場B:0.8/-/-/
トマト (果実)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴処理 2g/株 2000倍散布 200, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A:0.142/0.02/0.02/<0.01 圃場B:*0.347/0.03/0.01/0.01 (*3回, 3日)
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	育苗培土混和 40 g/培土L 2000倍散布 1.0.2 L/トイ 50倍灌注 500 mL/箱 育苗期株元散布 2 g/株 定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍葉面散布 250 L/10 a	1+1+1+ 1+1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.34/-/-/-(7回, 7日) (#) 圃場B:0.20/-/-/-(7回, 1日) (#)
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	播種時培土混和 40 g/培土L 2000倍散布 1.0.2 L/トイ 50倍育苗期灌注 500 mL/トイ 育苗期株元散布 2 g/株 定植時植穴土壌混和 2 g/株 株元散布 2 g/株	1+1+1+ 1+1+2	1, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.10/-/-/-(7回, 7日) (#) 圃場B:0.08/-/-/-(7回, 1日) (#)
ミニトマト (果実)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	育苗培土混和 40 g/培土L 2000倍散布 1.0.2 L/トイ 50倍灌注 500 mL/箱 育苗期株元散布 2 g/株 定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 200, 250 L/10 a	1+1+1+ 1+1+2	1, 3, 7, 14, 28	圃場A:0.58/-/-/-(7回, 7日) (#) 圃場B:0.43/-/-/-(7回, 7日) (#)
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	育苗培土混和 40 g/培土L 2000倍散布 1.0.2 L/トイ 50倍灌注 500 mL/トイ 育苗期株元散布 2 g/株 定植時植穴土壌混和 2 g/株 株元散布 2 g/株	1+1+1+ 1+1+2	1, 3, 7, 14, 28	圃場A:0.17/-/-/-(7回, 3日) (#) 圃場B:0.17/-/-/-(7回, 3日) (#)
ピーマン (果実)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.431/-/-/ 圃場B:1.18/-/-/
	2	1.0%粒剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 生育期株元散布 2 g/株	1+2	1, 3, 7	圃場A:0.10/-/-/-(3回, 3日) (#) 圃場B:0.07/-/-/-(3回, 1日) (#)
なす (果実)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 250 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A:0.264/<0.01/0.01/<0.01 圃場B:0.504/<0.01/0.02/<0.01
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 生育期株元散布 2 g/株 2000倍散布 200, 157 L/10 a	1+2+2	1, 3, 7	圃場A:0.48/-/-/-(5回, 1日) (#) 圃場B:0.46/-/-/-(5回, 1日) (#)
	2	1.0%粒剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 生育期株元散布 2 g/株	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.06/-/-/-(3回, 1日) (#) 圃場B:0.08/-/-/-(3回, 7日) (#)
ししとう (果実)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 250, 150 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A:1.44/-/-/ 圃場B:1.50/-/-/-(3回, 3日)
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	2000倍散布 500, 100 mL/箱 50倍灌注 500 mL/箱 200倍灌注 20 mL/箱 定植時植穴土壌混和 2 g/株 株元散布 2 g/株 2000倍散布 300・90, 120 L/10 a	1+1+1+ 1+1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:1.42/-/-/-(7回, 3日) (#) 圃場B:1.60/-/-/-(7回, 1日) (#)
とうがらし (果実)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	2000倍散布 1000 mL/箱, 200mL/3箱 50倍灌注 500 mL/箱 200倍灌注 20 mL/箱 定植時植穴土壌混和 2 g/株 株元散布 2 g/株 2000倍散布 200, 170 L/10 a	1+1+1+ 1+1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:1.8/-/-/-(7回, 7日) (#) 圃場B:1.6/-/-/-(7回, 1日) (#)
とうがらし(葉) (茎葉)	2	1.0%粒剤	定植時植穴土壌混和 1 g/株	1	30, 45, 60	圃場A:2.2/-/-/ 圃場B:0.82/-/-/
	2	1.0%粒剤 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 1 g/株 2000倍散布 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:3.6/-/-/ 圃場B:3.4/-/-/
食用ほおずき (果実)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 250 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:<0.40/-/-/ 圃場B:<0.40/-/-/
きゅうり (果実)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A:*0.43/<0.01/0.04/*0.03 (*3回, 3日) 圃場B:*0.52/<0.01/0.04/0.01 (*3回, 3日)
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 生育期株元散布 2 g/株 2000倍散布 200, 250 L/10 a	1+1+2	1, 3, 7	圃場A:0.65/-/-/-(4回, 3日) (#) 圃場B:0.38/-/-/-(4回, 1日) (#)
きゅうり (葉)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 240, 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:4.00/-/-/ 圃場B:1.14/-/-/
きゅうり (花)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 240, 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:2.40/-/-/ 圃場B:2.79/-/-/
かぼちゃ (果実)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 200 L/10 a	1+2	1, 7, 14, 21	圃場A:0.06/-/-/ 圃場B:0.12/-/-/
すいか (果実)	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 5 g/株 生育期株元散布 2 g/株 2000倍散布 200, 250 L/10 a	1+1+2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.20/-/-/-(4回, 21日) (#) 圃場B:0.13/-/-/-(4回, 21日) (#)
メロン (果実)	2	1.0%粒剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株	1	80, 87, 94 85, 92, 99	圃場A:<0.005/<0.01/<0.01/<0.01 (1回, 80日) 圃場B:*0.030/**0.01/**<0.01/**<0.01 (*1回, 92日, **1回, 85日)
	2	1.0%粒剤＋ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 1000倍散布 250 L/10 a	1+2	3, 14, 28, 42	圃場A:0.47/-/-/-(3回, 28日) (#) 圃場B:0.26/-/-/-(3回, 28日) (#)

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【ジノテフラン/MNG/UF/DN】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
まくわうり (果実)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 300 L/10 a	1	3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.10/-/-/- (1回, 14日) 圃場B:0.19/-/-/- (1回, 14日)
	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.21/-/-/- (2回, 14日) 圃場B:0.40/-/-/- (2回, 21日)
にがうり (果実)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	2000倍灌注 500mL/トイ 定植時植穴土壌混和 2 g/株 2000倍散布 250, 200 L/10 a	1+1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.40/-/-/- (4回, 1日) (#) 圃場B:0.69/-/-/- (4回, 1日) (#)
ほうれんそう (茎葉)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	定植時植溝土壌混和 9 kg/10 a 2000倍散布 150, 250 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A:9.33/-/-/- (3回, 3日) (#) 圃場B:7.10/-/-/- (3回, 3日) (#)
オクラ (果実)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	生育期株元散布 9 kg/10 a 2000倍散布 180~250, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.46/-/-/- 圃場B:0.56/-/-/-
しょうが (塊茎)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	生育期株元散布 9 kg/10 a 2000倍散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.18/-/-/- (3回, 3日) 圃場B:0.16/-/-/- (3回, 7日)
さやえんどう (さや)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	定植時100倍灌注 30 mL/株 定植時植溝土壌混和 9 kg/10 a 株元散布 9 kg/10 a 2000倍葉面散布 300, 200 L/10 a	1+1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:2.49/-/-/- (5回, 3日) (#) 圃場B:1.17/-/-/- (5回, 1日) (#)
さやいんげん (さや)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	生育期株元散布 9 kg/10 a 2000倍散布 200, 150 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.82/-/-/- 圃場B:0.80/-/-/-
	1	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	生育期株元散布 9 kg/10 a 2000倍散布 179 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.64/-/-/- (3回, 3日)
えだまめ (さや)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	播種時播溝処理土壌混和 6 kg/10 a 2000倍散布 200, 220 L/10 a	1+2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.534/-/-/- (3回, 14日) (#) 圃場B:0.678/-/-/- (3回, 7日) (#)
	2	1.0%粒剤+ 0.50%粉剤	播種時播溝土壌混和 6 kg/10 a 散布4 kg/10 a	1+2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.32/-/-/- (3回, 7日) (#) 圃場B:0.20/-/-/- (3回, 7日) (#)
	1	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	播溝土壌混和 6 kg/10 a 2000倍散布 196 L/10 a	1+2	7, 14, 28	圃場A:0.54/-/-/- (3回, 7日) (#)
モロヘイヤ (茎葉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 307, 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:15.9/-/-/- 圃場B:15.2/-/-/-
くわい (塊茎)	2	1.0%粒剤	散布 3 kg/10 a	3	30, 60, 90	圃場A:0.03/-/-/- 圃場B:0.06/-/-/-
食用カーネーション (花)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 150 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:5.48/-/-/- 圃場B:5.40/-/-/-
食用トレニア (花器全体)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 150, 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:3.96/-/-/- 圃場B:4.13/-/-/-
食用パンジー (花器全体)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 150 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:6.4/-/-/- 圃場B:11.6/-/-/-
食用金魚草 (花器全体)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:7.22/-/-/- 圃場B:2.76/-/-/-
えごま (葉)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:12.3/-/-/- 圃場B:15.5/-/-/-
なんてん (葉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:12.6/-/-/- 圃場B:16.9/-/-/-
アマランサス (茎葉)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 300 L/10 a	2	3, 10, 17	圃場A:0.24/-/-/- 圃場B:0.39/-/-/-
未成熟ささげ (さや)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7 1, 3, 6	圃場A:1.16/-/-/- 圃場B:1.09/-/-/-
温州みかん (果肉)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 400 L/10 a	2	7, 14, 28, 42, 56 8, 14, 28, 42, 49	圃場A:0.460/-/-/- (2回, 28日) 圃場B:0.581/-/-/- (2回, 28日)
	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 400, 660 L/10 a	3	1, 7, 21, 28, 42, 56	圃場A:0.79/-/-/- (3回, 28日) 圃場B:0.64/-/-/- (3回, 42日)
温州みかん (果皮)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 400 L/10 a	2	7, 14, 28, 42, 56 8, 14, 28, 42, 49	圃場A:1.95/-/-/- (2回, 7日) 圃場B:3.46/-/-/- (2回, 8日)
	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 400, 660 L/10 a	3	1, 7, 21, 28, 42, 56	圃場A:5.96/-/-/- 圃場B:4.64/-/-/-
なつみかん (果肉)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.012/<0.01/<0.01/<0.01 (2回, 14日) 圃場B:0.034/<0.01/<0.01/<0.01 (2回, 14日)
なつみかん (果皮)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:*1.34/**<0.04/*0.02/*0.02 (*2回, 14日, **2回, 7日) 圃場B:*0.99/**0.02/*0.01/*0.05 (*2回, 7日, **2回, 21日)
なつみかん (果実全体)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:*0.486/**0.01/**0.01/**0.01 (*2回, 14日, **2回, 7日) 圃場B:0.233/0.01/0.01/0.01 (2回, 7日)
	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 833~1250, 500 L/10 a	3	1, 7, 14, 21, 28	圃場A:1.18/-/-/- (3回, 14日) (#) 圃場B:1.90/-/-/- (3回, 14日) (#)
すだち (果実)	1	20.0%水溶剤	1000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:*1.04/**0.02/*0.02/**0.03 (*2回, 7日, **2回, 21日, **2回, 14日)
	1	20.0%水溶剤	1000倍散布 500, 600 L/10 a	3	1, 7, 14, 21, 28	圃場A:4.66/-/-/-

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【ジノテフラン/MNG/UF/DN】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かぼす (果実)	1	20.0%水溶剤	1000倍散布 750 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.83/**0.01/*0.02/*0.02(*2回, 7日, **2回, 21日) (#)
	1	20.0%水溶剤	1000倍散布 500, 600 L/10 a	3	1, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.77/-/-/(3回, 14日)
りんご (果実)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 500, 600 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.276/<0.01/0.03/0.02(2回, 7日) (#) 圃場B:*0.187/*<0.01/**0.01/*<0.01(*2回, 7日, **2回, 21日) (#)
	2	20.0%水溶剤	500倍土壌表面散布 500 L/10 a 2000倍散布 600, 500 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.14/-/-/(4回, 1日) (#) 圃場B:0.10/-/-/(4回, 7日) (#)
	2	40.0%水和剤	2000倍散布 600, 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.62/-/-/ 圃場B:0.52/-/-/(3回, 3日)
	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 400, 500 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A:*0.736/**0.07/**0.02/**0.05(*2回, 7日**2回, 28日, **2回, 21日) (#) 圃場B:*0.454/**0.07/**0.02/**0.02(*2回, 7日, **2回, 21日) (#)
なし (果実)	2	20.0%水溶剤	500倍土壌表面散布 500 L/10 a 2000倍散布 350 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.16/-/-/(4回, 1日) (#) 圃場B:0.42/-/-/(4回, 1日) (#)
	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 400 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.36/-/-/(2回, 14日) 圃場B:0.18/-/-/(2回, 7日)
びわ (果肉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 400 L/10 a	2	7, 14, 20, 26 7, 14, 21, 27	圃場A:*0.196/**0.01/**0.02/*<0.01(*2回, 7日, **2回, 20日, ***2回, 14日) 圃場B:*0.476/*0.01/**0.04/*<0.01(*2回, 7日, **2回, 14日)
もも (果肉)	2	20.0%水溶剤	500倍土壌表面散布 400, 500 L/10 a 2000倍散布 400, 500 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A:1.03/-/-/(4回, 21日) (#) 圃場B:0.54/-/-/(4回, 3日) (#)
	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 400, 450 L/10 a	2	7, 14, 20, 26 7, 14, 21, 27	圃場A:*1.24/**0.01/*0.04/*0.08(*2回, 7日, **2回, 14日) 圃場B:1.90/0.01/0.10/0.14(2回, 7日)
もも (果皮)	2	20.0%水溶剤	500倍土壌表面散布 400, 500 L/10 a 2000倍散布 400, 500 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A:5.28/-/-/(4回, 1日) (#) 圃場B:5.26/-/-/(4回, 1日) (#)
	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 270, 700 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.93/-/-/ 圃場B:0.86/-/-/(3回, 3日)
ネクタリン (果実)	2	20.0%水溶剤	500倍土壌表面散布 500 L/10 a 2000倍散布 400, 500 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 21	圃場A:0.22/-/-/(4回, 1日) (#) 圃場B:0.18/-/-/(4回, 7日) (#)
すもも (果実)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 400 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:*1.36/**0.17/**0.11/*0.05(*2回, 7日, **2回, 21日) 圃場B:*1.94/**0.09/*0.31/*0.13(*2回, 7日, **2回, 21日)
	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 300, 480 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:0.78/-/-/ 圃場B:1.28/-/-/
おうとう (果実)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 400, 500 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A:2.76/-/-/(2回, 21日) (#) 圃場B:1.54/-/-/(2回, 7日) (#)
	2	20.0%水溶剤	500倍土壌表面散布 500 L/10 a 2000倍散布 400, 500 L/10 a	1+2	1, 7, 14, 21, 28 1, 7, 13, 20, 27	圃場A:2.03/-/-/(3回, 1日) (#) 圃場B:5.05/-/-/(3回, 1日) (#)
いちご (果実)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 1 g/株 2000倍散布 200, 201 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A:*1.58/*0.02/*0.11/**0.02(*3回, 3日, **3回, 7日, ***3回, 1日) (#) 圃場B:*2.30/*0.02/*0.12/*0.03(*3回, 3日, **3回, 7日) (#)
	2	1.0%粒剤	定植時植穴土壌混和 1 g/株	1	121, 128, 135 130, 137, 144	圃場A:0.606/-/-/(1回, 121日) 圃場B:0.039/-/-/(1回, 137日)
ぶどう (大粒種) (果実)	1	20.0%水溶剤	1000倍散布 400, 280~360 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A:*3.36/**0.03/**0.12/*0.05(*2回, 7日, **2回, 21日, **2回, 28日)
	1	20.0%水溶剤	1000倍散布 400, 500 L/10 a	3	1, 7, 14, 21, 28	圃場A:1.82/-/-/(3回, 21日)
	1	20.0%水溶剤	幼果期樹幹塗布 40 g+水40 mL/樹	1	30, 37, 44	圃場A:0.06/-/-/
	1	20.0%水溶剤	幼果期樹幹塗布40 g+水40 mL/樹 1000倍散布 300 L/10 a	1+3	1, 7, 14, 21, 27	圃場A:1.92/-/-/(4回, 27日) (#)
	1	20.0%水溶剤	幼果期樹幹塗布40 g+水40 mL/樹 1000倍散布 303, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14, 28, 35, 45	圃場A:1.82/-/-/(3回, 3日)
ぶどう (小粒種) (果実)	1	20.0%水溶剤	1000倍散布 400, 280~360 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A:*3.16/*0.03/**0.08/**0.02(*2回, 14日, **2回, 28日, **2回, 7日)
	1	20.0%水溶剤	1000倍散布 400, 500 L/10 a	3	1, 7, 14, 21, 28	圃場A:7.8/-/-/(3回, 14日)
	1	20.0%水溶剤	幼果期樹幹塗布 40 g+水40 mL/樹	1	30, 37, 44	圃場A:0.07/-/-/
	1	20.0%水溶剤	幼果期樹幹塗布40 g+水40 mL/樹 1000倍散布 300 L/10 a	1+3	1, 7, 14, 21, 27	圃場A:4.60/-/-/(4回, 27日) (#)
	1	20.0%水溶剤	幼果期樹幹塗布40 g+水40 mL/樹 1000倍散布 303, 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14, 28, 35, 45	圃場A:1.22/-/-/(3回, 7日)

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 注1) 【ジノテフラン/MNG/UF/DN】
		剤型	使用量・使用方法	回数	
かき (果実)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 300,313 L/10 a	2	7, 14, 20 圃場A:0.50/-/-/- (2回, 7日) (#) 圃場B:0.70/-/-/- (2回, 14日) (#)
	2	20.0%水溶剤	500倍土壌表面散布 5 L/樹 2000倍散布 300, 500 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14, 21 圃場A:0.34/-/-/- (4回, 3日) (#) 圃場B:0.55/-/-/- (4回, 1日) (#)
	2	20.0%水溶剤	樹幹塗布 40 g+水40 mL/樹 2000倍散布 400 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14 圃場A:0.27/-/-/- 圃場B:0.32/-/-/-
キウイフルーツ (果実)	2	20.0%水溶剤	1000倍散布 300, 500 L/10 a	3	1, 7, 14, 21, 28 圃場A:0.10/-/-/- (3回, 7日) 圃場B:0.20/-/-/- (3回, 14日)
マンゴー (果実)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200, 320 L/10 a	3	1, 3, 7 圃場A:0.34/-/-/- 圃場B:0.32/-/-/-
あけび (果実)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 500 L/10 a	2	14, 21, 28 圃場A:0.08/-/-/- 圃場B:0.05/-/-/-
オリーブ (果実)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200, 571 L/10 a	1	14, 21, 28 圃場A:1.08/-/-/- (1回, 21日) 圃場B:0.82/-/-/- (1回, 21日)
	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200, 571 L/10 a	2	1, 7, 14, 21 圃場A:1.74/-/-/- 圃場B:1.78/-/-/-
オリーブ (葉)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 583, 320 L/10 a	2	7, 14, 21 圃場A:14.4/-/-/- 圃場B:4.18/-/-/-
茶 (荒茶)	2	20.0%水溶剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21 圃場A:9.10/-/-/- 圃場B:19.1/-/-/-
	2	1.0%粒剤	株元散布 12 kg/10 a	2	7, 14, 28, 56 圃場A:3.25/-/-/- (2回, 28日) (#) 圃場B:1.43/-/-/- (2回, 28日) (#)
食用ミニバラ (花器全体)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14 圃場A:1.06/-/-/- 圃場B:0.82/-/-/-
はっか (茎葉)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 180, 170 L/10 a	2	3, 7, 14 圃場A:3.37/-/-/- 圃場B:3.08/-/-/-
しそ (葉)	2	1.0%粒剤+ 20.0%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2 g/株 3000倍散布 200 L/10 a	1+2	3, 7, 14, 21 圃場A:15/-/-/- 圃場B:13/-/-/-
しそ (茎葉)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14, 21 圃場A:14.6/-/-/- 圃場B:9.32/-/-/-
しそ (花穂)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14 圃場A:3.48/-/-/- 圃場B:4.38/-/-/-
バジル (茎葉)	2	20.0%水溶剤	3000倍散布 250, 300 L/10 a	2	3, 7, 14 圃場A:5.56/-/-/- 圃場B:4.80/-/-/-

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載し注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

## ジノテフラン海外作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【ジノテフラン/UF/DN】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
クランベリー	5	20%水和剤	空中散布 0.174-0.182 lb ai/A	2	6	圃場A:0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:0.04/<0.01/<0.01
						圃場C:0.06/<0.01/0.02
						圃場D:0.05/<0.01/0.01
					7	圃場A:0.05/<0.01/0.01

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	2	2	○			0.36,1.00
とうもろこし	0.5	0.1	○	0.5		0.01,0.02(未成熟)
大豆	0.1	0.1	○			0.006,0.014(\$)
小豆類	0.3		申			0.05,0.09
ばれいしょ	0.2	0.2	○			0.02(#),0.03(#)(%)
かんしょ	0.1	0.1	○			<0.02,<0.02
てんさい	0.2	0.2	○			<0.01,0.04(\$)
さとうきび	0.3		申			<0.01,0.01,0.07(\$)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.5	0.5	○			0.08,0.12(\$)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	10	10	○	6		1.99,4.12
かぶ類の根	0.5	0.5	○			0.10(#),0.15(#)
かぶ類の葉	6	5	○	6		
クレソン	7	5	○	7		
はくさい	6	2	○	6		
キャベツ	2	2	○	2		0.820,0.913
芽キャベツ	2	1		2		
ケール	10	10	○	6		(きょうな参照)
こまつな	10	10	○	6		1.36(#),3.86(#)(%)
きょうな	10	10	○	6		3.22(#),4.06(#)(みずな)
チンゲンサイ	10	10	○	6		2.02,3.92(\$)
カリフラワー	2	2		2		
ブロッコリー	2	2	○	2		0.14,0.64(\$)
その他のあぶらな科野菜	10	10	○	6		2.90,4.24(オータムポエム)
アーティチョーク		5				
チコリ	6	5		6		
エンダイブ	6	5		6		
しゅんぎく	20	20	○	6		7.5(#),12.7(#)
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	25	25	○	6		5.21(#),16.0(#)(%) (サラダ菜)
その他のきく科野菜	6	5	○	6		
たまねぎ	0.1			0.1		
ねぎ(リーキを含む。)	15	15	○			8.04(#)(深ねぎ)
にら	10	10	○			2.44,5.20
アスパラガス	0.5	0.5	○			0.08,0.13
わけぎ	10		申			2.82,3.04(\$)
その他のゆり科野菜	4	0.7	○	4		0.18(#),0.26(#)(らっきょう)
にんじん	1	1	○		5.0 米国	0.20,0.38(\$)
パセリ	5	5				
セロリ	5	5	○	0.6		0.98(#),1.82(#)
みつば		5				
その他のせり科野菜	5	5	○			0.04,1.7(せり)
トマト	2	2	○	0.5		0.43(#),0.58(#)(ミニトマト)
ピーマン	3	3	○	0.5		0.431,1.18(\$)
なす	2	2	○	0.5		0.264,0.504(\$)
その他のなす科野菜	10	15	○	6		3.4,3.6(とうがらしの葉)
きゅうり(ガーキンを含む。)	2	2	○	0.5		0.43,0.52(\$)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	2	2	○	0.5		(きゅうり参照)
しろり	2	2	○	0.5		(きゅうり参照)
すいか	0.5	0.5	○	0.5		0.13(#),0.20(#)
メロン類果実	1	1	○	0.5		0.26(#),0.47(#)
まくわうり	1	1	○	0.5		0.21,0.40
その他のうり科野菜	10	10	○	6		1.14,4.00(\$)(きゅうりの葉)
ほうれんそう	15	15	○	6		7.10(#),9.33(#)
オクラ	2	2	○	0.5		0.46,0.56
しょうが	0.5	0.5	○			0.16,0.18
未成熟えんどう	5	5	○			1.17(#),2.49(#)
未成熟いんげん	2	2	○			0.80,0.82

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
えだまめ	2	2	○			0.534(#),0.678(#)
しいたけ	0.5			0.5		
その他のきのこ類	0.5			0.5		
その他の野菜	25	25	○	6		12.3,15.5(\$)(えごまの葉)
みかん	2	2	○			0.64,0.79
なつみかんの果実全体	5	5	○			1.18(#),1.9(#)
レモン	10	10	○			(その他のかんきつ類果実参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	10	10	○			(その他のかんきつ類果実参照)
グレープフルーツ	10	10	○			(その他のかんきつ類果実参照)
ライム	10	10	○			(その他のかんきつ類果実参照)
その他のかんきつ類果実	10	10	○			4.66(すだち)
りんご	2	2	○			0.52,0.62
日本なし	1	1	○			0.454(#),0.736(#)
西洋なし	1	1	○			(日本なし参照)
びわ	1	1	○			0.18,0.36(\$)
もも	3	3	○			0.54(#),1.03(#)(%)
ネクタリン	2	2	○	0.8		0.86,0.93
あんず(アブリコットを含む。)	5	5	○			(うめ参照)
すもも(プルーンを含む。)	0.7	0.7	○			0.18(#),0.22(#)(%)
うめ	5	5	○			1.36,1.94
おうとう(チェリーを含む。)	10	10	○			2.03(#),5.05(#)
いちご	2	2	○			0.039,0.606(\$)
ブルーベリー	0.2		IT		0.2: 米国	【米国クランベリー参照】
クランベリー	0.2		IT	0.15	0.2: 米国	【0.01-0.06(n=5)】
その他のベリー類果実	0.2		IT		0.2: 米国	【米国クランベリー参照】
ぶどう	15	15	○	0.9		7.8(小粒種)
かき	2	2	○			0.50(#),0.70(#)
キウイ	0.5	0.5	○			0.10,0.20
マンゴー	1	1	○			0.32,0.34
その他の果実	5	0.7	○・申	0.5		1.74,1.78(オリーブ)
綿実	0.4	0.4		0.2	0.4: 米国	
茶	25	25	○			9.10,19.1(\$)
その他のスパイス	10	10	○			4.64,5.96(みかんの果皮)
その他のハーブ	25	25	○	6		3.90,18.9(\$)(畑わさび(花茎))
牛の筋肉	0.1	0.05		0.1		
豚の筋肉	0.1	0.05		0.1		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.1	0.05		0.1		
牛の脂肪	0.1	0.05		0.1		
豚の脂肪	0.1	0.05		0.1		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.1	0.05		0.1		
牛の肝臓	0.1	0.05		0.1		
豚の肝臓	0.1	0.05		0.1		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.1	0.05		0.1		
牛の腎臓	0.1	0.05		0.1		
豚の腎臓	0.1	0.05		0.1		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.1	0.05		0.1		
牛の食用部分	0.1	0.05		0.1		
豚の食用部分	0.1	0.05		0.1		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.1	0.05		0.1		
乳	0.1	0.05		0.1		
鶏の筋肉	0.02			0.02		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
その他の家さんの筋肉	0.02			0.02		
鶏の脂肪	0.02			0.02		
その他の家さんの脂肪	0.02			0.02		
鶏の肝臓	0.02			0.02		
その他の家さんの肝臓	0.02			0.02		
鶏の腎臓	0.02			0.02		
その他の家さんの腎臓	0.02			0.02		
鶏の食用部分	0.02			0.02		
その他の家さんの食用部分	0.02			0.02		
鶏の卵	0.02			0.02		
その他の家さんの卵	0.02			0.02		

申請(国内における登録、承認等の申請、インポ-トランス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

「登録有無」の欄に「IT」の記載があるものは、インポ-トランス申請に基づく基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

ジノテフラン推定摂取量 (単位:  $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$ )

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	2	328.4	171.4	210.6	360.4
とうもろこし	0.5	2.4	2.7	3.0	2.2
大豆	0.1	3.9	2.0	3.1	4.6
小豆類	0.3	0.7	0.2	0.2	1.2
ばれいしょ	0.2	7.7	6.8	8.4	7.0
かんしょ	0.1	0.7	0.6	1.2	1.0
てんさい	0.2	6.5	5.5	8.2	6.6
さとうきび	0.3	29.5	25.1	37.2	30.1
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.5	16.5	5.7	10.3	22.9
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	10	17.0	6.0	31.0	28.0
かぶ類の根	0.5	1.4	0.4	0.1	2.5
かぶ類の葉	6	1.8	0.6	0.6	3.6
クレソン	7	0.7	0.7	0.7	0.7
はくさい	6	106.2	30.6	99.6	129.6
キャベツ	2	48.2	23.2	38.0	47.6
芽キャベツ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ケール	10	2.0	1.0	1.0	2.0
こまつな	10	50.0	18.0	64.0	64.0
きょうな	10	22.0	4.0	14.0	27.0
チンゲンサイ	10	18.0	7.0	18.0	19.0
カリフラワー	2	1.0	0.4	0.2	1.0
ブロッコリー	2	10.4	6.6	11.0	11.4
その他のあぶらな科野菜	10	34.0	6.0	8.0	48.0
チコリ	6	0.6	0.6	0.6	0.6
エンダイブ	6	0.6	0.6	0.6	0.6
しゅんぎく	20	30.0	6.0	52.0	50.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	25	240.0	110.0	285.0	230.0
その他のきく科野菜	6	9.0	0.6	3.6	15.6
たまねぎ	0.1	3.1	2.3	3.5	2.8
ねぎ (リーキを含む。)	15	141.0	55.5	102.0	160.5
にら	10	20.0	9.0	18.0	21.0
アスパラガス	0.5	0.9	0.4	0.5	1.3
わけぎ	10	2.0	1.0	1.0	2.0
その他のゆり科野菜	4	2.4	0.4	0.8	4.8
にんじん	1	18.8	14.1	22.5	18.7
パセリ	5	0.5	0.5	0.5	1.0
セロリ	5	6.0	3.0	1.5	6.0
その他のせり科野菜	5	1.0	0.5	1.5	1.5
トマト	2	64.2	38.0	64.0	73.2
ピーマン	3	14.4	6.6	22.8	14.7
なす	2	24.0	4.2	20.0	34.2
その他のなす科野菜	10	11.0	1.0	12.0	12.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	2	41.4	19.2	28.4	51.2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	2	18.6	7.4	15.8	26.0
しろうり	2	1.0	0.2	0.2	1.8
すいか	0.5	3.8	2.8	7.2	5.7
メロン類果実	1	3.5	2.7	4.4	4.2
まくわうり	1	0.2	0.1	0.1	0.5
その他のうり科野菜	10	27.0	12.0	6.0	34.0
ほうれんそう	15	192.0	88.5	213.0	261.0
オクラ	2	2.8	2.2	2.8	3.4

ジノテフラン推定摂取量 (単位:  $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$ )

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
しょうが	0.5	0.8	0.2	0.6	0.9
未成熟えんどう	5	8.0	2.5	1.0	12.0
未成熟いんげん	2	4.8	2.2	0.2	6.4
えだまめ	2	3.4	2.0	1.2	5.4
しいたけ	0.5	3.0	1.5	1.6	3.7
その他のきのこ類	0.5	5.1	2.4	5.3	5.7
その他の野菜	25	335.0	157.5	252.5	352.5
みかん	2	35.6	32.8	1.2	52.4
なつみかんの果実全体	5	6.5	3.5	24.0	10.5
レモン	10	5.0	1.0	2.0	6.0
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	10	70.0	146.0	125.0	42.0
グレープフルーツ	10	42.0	23.0	89.0	35.0
ライム	10	1.0	1.0	1.0	1.0
その他のかんきつ類果実	10	59.0	27.0	25.0	95.0
りんご	2	48.4	61.8	37.6	64.8
日本なし	1	6.4	3.4	9.1	7.8
西洋なし	1	0.6	0.2	0.1	0.5
びわ	1	0.5	0.3	1.9	0.4
もも	3	10.2	11.1	15.9	13.2
ネクタリン	2	0.2	0.2	0.2	0.2
あんず (アブリコットを含む。)	5	1.0	0.5	0.5	2.0
すもも (プルーンを含む。)	0.7	0.8	0.5	0.4	0.8
うめ	5	7.0	1.5	3.0	9.0
おうとう (チェリーを含む。)	10	4.0	7.0	1.0	3.0
いちご	2	10.8	15.6	10.4	11.8
ブルーベリー	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3
クランベリー	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ぶどう	15	130.5	123.0	303.0	135.0
かき	2	19.8	3.4	7.8	36.4
キウイ	0.5	1.1	0.7	1.2	1.5
マンゴー	1	0.3	0.3	0.1	0.3
その他の果実	5	6.0	2.0	4.5	8.5
綿実	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	25	165.0	25.0	92.5	235.0
その他のスパイス	10	1.0	1.0	1.0	2.0
その他のハーブ	25	22.5	7.5	2.5	35.0
陸棲哺乳類の肉類	0.1	5.8	4.3	6.4	4.1
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.1	0.1	0.1	0.5	0.1
陸棲哺乳類の乳類	0.1	26.4	33.2	36.5	21.6
家さんの肉類	0.02	0.4	0.3	0.5	0.3
家さんの卵類	0.02	0.8	0.7	1.0	0.8
計		2638.0	1420.4	2526.2	3081.5
ADI比 (%)		21.8	39.1	19.6	25.0

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算値: 基準値案×各食品の平均摂取量

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。

## ジノテフラン推定摂取量（短期）：一般(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
米(玄米)	米	2	○ 0.68	4.3	0
とうもろこし	スイートコーン	0.5	0.5	5.6	0
大豆	大豆	0.1	○ 0.01	0.0	0
小豆類	いんげん	0.3	0.3	0.5	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.2	0.2	1.9	0
かんしょ	かんしょ	0.1	0.1	1.3	0
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	だいこんの根	0.5	0.5	5.8	0
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	だいこんの葉	10	10	82.6	7
かぶ類の根	かぶの根	0.5	0.5	3.7	0
かぶ類の葉	かぶの葉	6	6	16.0	1
はくさい	はくさい	6	6	77.8	6
キャベツ	キャベツ	2	2	19.1	2
ケール	ケール	10	10	80.3	7
こまつな	こまつな	10	10	42.4	4
きょうな	きょうな	10	10	33.3	3
チンゲンサイ	チンゲンサイ	10	10	74.2	6
カリフラワー	カリフラワー	2	2	14.8	1
ブロッコリー	ブロッコリー	2	2	12.0	1
その他のあぶらな科野菜	たかな	10	10	78.5	7
	菜花	10	10	27.6	2
しゅんぎく	しゅんぎく	20	20	65.2	5
	レタス類	25	25	141.0	10
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	非結球レタス類	25	25	100.7	8
	レタス	25	25	143.3	10
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	0.8	0
ねぎ(リーキを含む。)	ねぎ	15	15	57.3	5
にら	にら	10	10	13.5	1
アスパラガス	アスパラガス	0.5	0.5	1.0	0
わけぎ	わけぎ	10	10	19.8	2
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	4	4	7.1	1
	らっきょう	4	4	4.3	0
にんじん	にんじん	1	1	4.5	0
	にんじんジュース	1	○ 0.29	2.0	0
パセリ	パセリ(生)	5	5	0.8	0
	パセリ(乾燥)	5	5	4.5	0
セロリ	セロリ	5	5	27.6	2
その他のせり科野菜	せり	5	5	8.2	1
トマト	トマト	2	2	21.9	2
ピーマン	ピーマン	3	3	7.7	1
なす	なす	2	2	12.9	1
その他のなす科野菜	とうがらし(生)	10	10	16.1	1
	ししとう	10	10	10.2	1
きゅうり(ガーキンを含む。)	きゅうり	2	2	12.7	1
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	かぼちゃ	2	2	19.6	2
	ズッキーニ	2	2	14.5	1
しろうり	しろうり	2	2	16.6	1
ずいか	ずいか	0.5	0.5	16.5	1
メロン類果実	メロン	1	1	17.0	1
その他のうり科野菜	とうがん	10	10	170.2	10
	にがうり	10	10	80.7	7
ほうれんそう	ほうれんそう	15	15	72.7	6
オクラ	オクラ	2	2	3.0	0
しょうが	しょうが	0.5	0.5	0.5	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう(さや)	5	5	8.1	1
	未成熟えんどう(豆)	5	5	8.5	1
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	2	3.9	0
えだまめ	えだまめ	2	2	5.1	0
しいたけ	しいたけ	0.5	0.5	0.5	0
	きくらげ	0.5	0.5	0.5	0
	しめじ	0.5	0.5	0.7	0
	なめこ	0.5	0.5	0.8	0
その他のきのこ類	エリンギ	0.5	0.5	0.8	0
	ひらたけ	0.5	0.5	0.6	0
	まいたけ	0.5	0.5	0.6	0
	えのきたけ	0.5	0.5	0.6	0

## ジノテフラン推定摂取量（短期）：一般(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
その他の野菜	ずいき	25	25	253.0	20
	もやし	25	25	57.4	5
	れんこん	25	25	155.4	10
	そら豆(生)	25	25	73.4	6
みかん	みかん	2	2	18.7	2
なつみかんの果実全体	なつみかん	5	5	62.1	5
レモン	レモン	10	10	21.0	2
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	10	10	94.0	8
	オレンジ果汁	10	10	99.4	8
グレープフルーツ	グレープフルーツ	10	10	172.1	10
その他のかんきつ類果実	きんかん	10	10	23.9	2
	ぼんかん	10	10	105.2	9
	ゆず	10	10	15.8	1
	すだち	10	10	15.7	1
りんご	りんご	2	2	28.6	2
	りんご果汁	2	○ 0.57	6.0	1
日本なし	日本なし	1	1	15.1	1
西洋なし	西洋なし	1	1	14.0	1
びわ	びわ	1	1	7.2	1
もも	もも	3	3	40.7	3
すもも(ブルーンを含む。)	ブルーン	0.7	0.7	4.1	0
うめ	うめ	5	5	6.9	1
おうとう(チェリーを含む。)	おうとう	10	10	25.0	2
いちご	いちご	2	2	7.6	1
ブルーベリー	ブルーベリー	0.2	0.2	0.3	0
ぶどう	ぶどう	15	15	202.1	20
かき	かき	2	2	28.6	2
キウイ	キウイ	0.5	0.5	2.8	0
マンゴー	マンゴー	1	1	13.5	1
その他の果実	いちじく	5	5	38.3	3
茶	緑茶類	25	○ 14.1	8.6	1

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁(値が100を超える場合は有効数字2桁)とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における中央値(STMR)を用いて短期摂取量を推計した。

## ジノテフラン推定摂取量（短期）：幼児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
米 (玄米)	米	2	○ 0.68	7.4	1
とうもろこし	スイートコーン	0.5	0.5	12.0	1
大豆	大豆	0.1	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.2	0.2	4.5	0
かんしょ	かんしょ	0.1	0.1	2.5	0
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	だいこんの根	0.5	0.5	10.9	1
はくさい	はくさい	6	6	94.1	8
キャベツ	キャベツ	2	2	31.3	3
こまつな	こまつな	10	10	88.8	7
ブロッコリー	ブロッコリー	2	2	28.8	2
ごぼう	ごぼう	0	0	0.0	0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	25	25	245.6	20
	非結球レタス類	25	25	347.8	30
	レタス	25	25	220.8	20
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	1.8	0
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	15	15	97.3	8
にら	にら	10	10	21.1	2
にんじん	にんじん	1	1	10.4	1
パセリ	パセリ (生)	5	5	0.9	0
トマト	トマト	2	2	54.3	5
ピーマン	ピーマン	3	3	19.6	2
なす	なす	2	2	31.3	3
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	2	2	29.2	2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	2	2	32.1	3
すいか	すいか	0.5	0.5	43.3	4
メロン類果実	メロン	1	1	29.3	2
ほうれんそう	ほうれんそう	15	15	168.4	10
オクラ	オクラ	2	2	8.6	1
しょうが	しょうが	0.5	0.5	0.7	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	5	5	6.2	1
	未成熟えんどう (豆)	5	5	9.0	1
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	2	8.1	1
えだまめ	えだまめ	2	2	5.6	0
その他の野菜	もやし	25	25	104.8	9
	れんこん	25	25	256.9	20
みかん	みかん	2	2	54.8	5
	オレンジ	10	10	269.5	20
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ果汁	10	10	178.3	10
	りんご	2	2	64.2	5
りんご	りんご果汁	2	○ 0.57	19.2	2
	日本なし	1	1	28.8	2
もも	もも	3	3	127.3	10
うめ	うめ	5	5	17.1	1
いちご	いちご	2	2	21.6	2
ぶどう	ぶどう	15	15	459.2	40
かき	かき	2	2	41.8	3
茶	緑茶類	25	○ 14.1	13.6	1

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD (%) の値は、有効数字1桁 (値が100を超える場合は有効数字2桁) とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

(参考)

これまでの経緯

平成14年	4月24日	初回農薬登録
平成16年	4月26日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：大豆、大根、メロン等）
平成16年	4月28日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成17年	6月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成18年	7月28日	残留農薬基準告示
平成18年	8月21日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：チンゲンサイ、ほうれん草、あんず等）
平成18年	9月4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成18年11月	6日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年	1月26日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：マンゴー）
平成19年	4月13日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：おくら）
平成19年	7月26日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成19年10月	26日	残留農薬基準告示
平成22年	1月18日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：にら、キウイフルーツ等）
平成22年	2月15日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年	9月9日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	4月26日	残留農薬基準告示
平成24年	2月8日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：未成熟とうもろこし、とうがらし(葉)等）
平成24年	5月16日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請

- 平成24年10月29日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
- 平成25年10月22日 残留農薬基準告示
- 平成25年 6月28日 インポートトレランス設定の要請（ブルーベリー、クランベリー等）
- 平成25年 8月19日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
- 平成25年12月 2日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
- 平成28年 4月18日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：あずき、オリーブ等）
- 平成28年 7月11日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
- 平成28年 9月20日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：さとうきび）
- 平成29年 2月14日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
- 平成29年 7月10日 薬事・食品衛生審議会へ諮問
- 平成29年 7月13日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| ○ 穂山 浩 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部長            |
| 石井 里枝  | 埼玉県衛生研究所化学検査室長              |
| 井之上 浩一 | 立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授     |
| 折戸 謙介  | 麻布大学獣医学部生理学教授               |
| 魏 民    | 大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学准教授      |
| 佐々木 一昭 | 東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授   |
| 佐藤 清   | 元 一般財団法人残留農薬研究所技術顧問         |
| 佐野 元彦  | 東京海洋大学海洋生物資源学部門教授           |
| 永山 敏廣  | 明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授 |
| 根本 了   | 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長         |
| 二村 睦子  | 日本生活協同組合連合会組織推進本部長          |
| 宮井 俊一  | 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問          |
| 由田 克士  | 大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授     |
| 吉成 浩一  | 静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授        |

(○：部会長)

答申(案)

ジノテフラン

食品名	残留基準値		
	ppm		
米(玄米をいう。)	2	※今回基準値を設定するジノテフランとは、農産物にあつてはジノテフラン、畜産物にあつてはジノテフラン及びUF【1-メチル-3-(テトラヒドロ-3-フリルメチル)ウレア】をジノテフランに換算したものの和をいう。	
とうもろこし	0.5		
大豆	0.1		
小豆類 <sup>注1)</sup>	0.3		
ばれいしょ	0.2		
かんしょ	0.1		
てんさい	0.2		
さとうきび	0.3		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.5		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	10		
かぶ類の根	0.5	注2)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。	
かぶ類の葉	6		
クレソン	7		
はくさい	6		
キャベツ	2		
芽キャベツ	2		
ケール	10		
こまつな	10		
きょうな	10		
チンゲンサイ	10		
カリフラワー	2		
ブロッコリー	2		
その他のあぶらな科野菜 <sup>注2)</sup>	10		
チコリ	6		注3)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。
エンダイブ	6		
しゅんぎく	20		
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	25		
その他のきく科野菜 <sup>注3)</sup>	6		
たまねぎ	0.1	注4)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。	
ねぎ(リーキを含む。)	15		
にら	10		
アスパラガス	0.5		
わけぎ	10		
その他のゆり科野菜 <sup>注4)</sup>	4		
にんじん	1	注5)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。	
パセリ	5		
セロリ	5		
その他のせり科野菜 <sup>注5)</sup>	5		
トマト	2		注6)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
ピーマン	3		
なす	2		
その他のなす科野菜 <sup>注6)</sup>	10		
きゅうり(ガーキンを含む。)	2		
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	2		

食品名	残留基準値	
	ppm	
しろうり	2	
すいか	0.5	
メロン類果実	1	注7)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
まくわうり	1	
その他のうり科野菜 <sup>注7)</sup>	10	
ほうれんそう	15	
オクラ	2	
しょうが	0.5	
未成熟えんどう	5	
未成熟いんげん	2	
えだまめ	2	
しいたけ	0.5	注8)「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。
その他のきのこ類 <sup>注8)</sup>	0.5	
その他の野菜 <sup>注9)</sup>	25	注9)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
みかん	2	注10)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
なつみかんの果実全体	5	
レモン	10	
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	10	
グレープフルーツ	10	
ライム	10	
その他のかんきつ類果実 <sup>注10)</sup>	10	
りんご	2	
日本なし	1	
西洋なし	1	
びわ	1	
もも	3	注11)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。
ネクタリン	2	
あんず(アプリコットを含む。)	5	
すもも(プルーンを含む。)	0.7	
うめ	5	
おうとう(チェリーを含む。)	10	
いちご	2	注12)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
ブルーベリー	0.2	
クランベリー	0.2	
その他のベリー類果実 <sup>注11)</sup>	0.2	
ぶどう	15	注13)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
かき	2	
キウイー	0.5	
マンゴー	1	
その他の果実 <sup>注12)</sup>	5	
綿実	0.4	注14)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。
茶	25	
その他のスパイス <sup>注13)</sup>	10	
その他のハーブ <sup>注14)</sup>	25	
牛の筋肉	0.1	
豚の筋肉	0.1	

食品名	残留基準値 ppm
その他の陸棲哺乳類に属する動物 <sup>注15)</sup> の筋肉	0.1
牛の脂肪	0.1
豚の脂肪	0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.1
牛の肝臓	0.1
豚の肝臓	0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.1
牛の腎臓	0.1
豚の腎臓	0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.1
牛の食用部分 <sup>注16)</sup>	0.1
豚の食用部分	0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.1
乳	0.1
鶏の筋肉	0.02
その他の家きん <sup>注17)</sup> の筋肉	0.02
鶏の脂肪	0.02
その他の家きんの脂肪	0.02
鶏の肝臓	0.02
その他の家きんの肝臓	0.02
鶏の腎臓	0.02
その他の家きんの腎臓	0.02
鶏の食用部分	0.02
その他の家きんの食用部分	0.02
鶏の卵	0.02
その他の家きんの卵	0.02

注15)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注16)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注17)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。